

応急仮設住宅周辺環境調査【5回目】
(2013年8月調査実施)
～報告書～

2013年10月29日

岩手県連携復興会議
特定非営利活動法人いわて連携復興センター

○実施概要

○実施目的

応急仮設住宅にお住まいの世帯ごとの皆様の生活の状況を調査し、応急仮設住宅における生活課題を明らかにし、改善につなげることを目的とする。

○実施枠組

<実施主体> 岩手県連携復興会議

<主幹> 特定非営利活動法人いわて連携復興センター

<協力> 岩手県復興局生活再建課 調査実施市町村

<補助> 平成25年度復興支援の担い手の運営力強化実践事業補助金

○実施スケジュール

2013年8月5日～8月17日 調査票の配布(関係団体・支援員事業との連携)

2013年9月14日まで 調査票の回収

2013年10月中旬 調査報告書(第1案)作成終了

○対象

宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市 各仮設住宅の50%程度へ配布(無作為)

※仮設団地の戸数を考慮し、全仮設住宅団地を対象にした2段階無作為抽出

仮設支援員、支援団体等による配布と郵送による回収

○回収数

市町村名	団地数	戸数	抽出数	抽出率	回答者数	回収率
宮古	62	2,010	1,002	49.9%	312	31.1%
山田	49	1,950	978	50.2%	367	37.5%
大槌	48	2,146	996	46.4%	421	42.3%
釜石	50	3,164	1,135	35.9%	515	45.4%
大船渡	37	1,811	776	42.8%	335	43.2%
陸前高田	53	2,168	1,097	50.6%	475	43.3%
総計	299	13,249	5,984	45.2%	2,425	40.5%

○キーメッセージ① 集会所・談話室は「利用していない」人が微増傾向

○集会所・談話室の利用状況

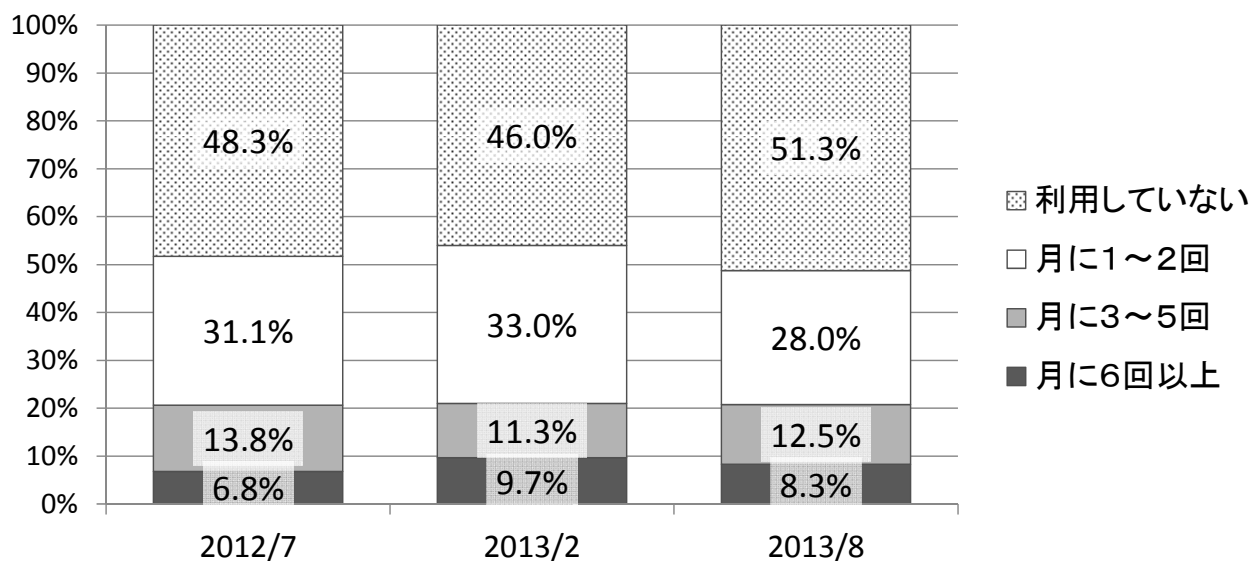
・仮設住宅団地における集会所・談話室の利用頻度が減少傾向(調査結果8)

→特に50代、60代で「利用していない」割合が増加

・利用しない理由の各年代の特徴(調査結果10)

50代以下の半数以上は、「仕事等で日中にいないため利用できない」、70代男性では、「友人・仲間がいないので入りにくい」「参加したいイベント・事業がない」、60代女性では、「いつも同じ人が使っていて入りにくい」という回答の割合が他年代と比較し、高い傾向にある。

集会所・談話室の利用頻度



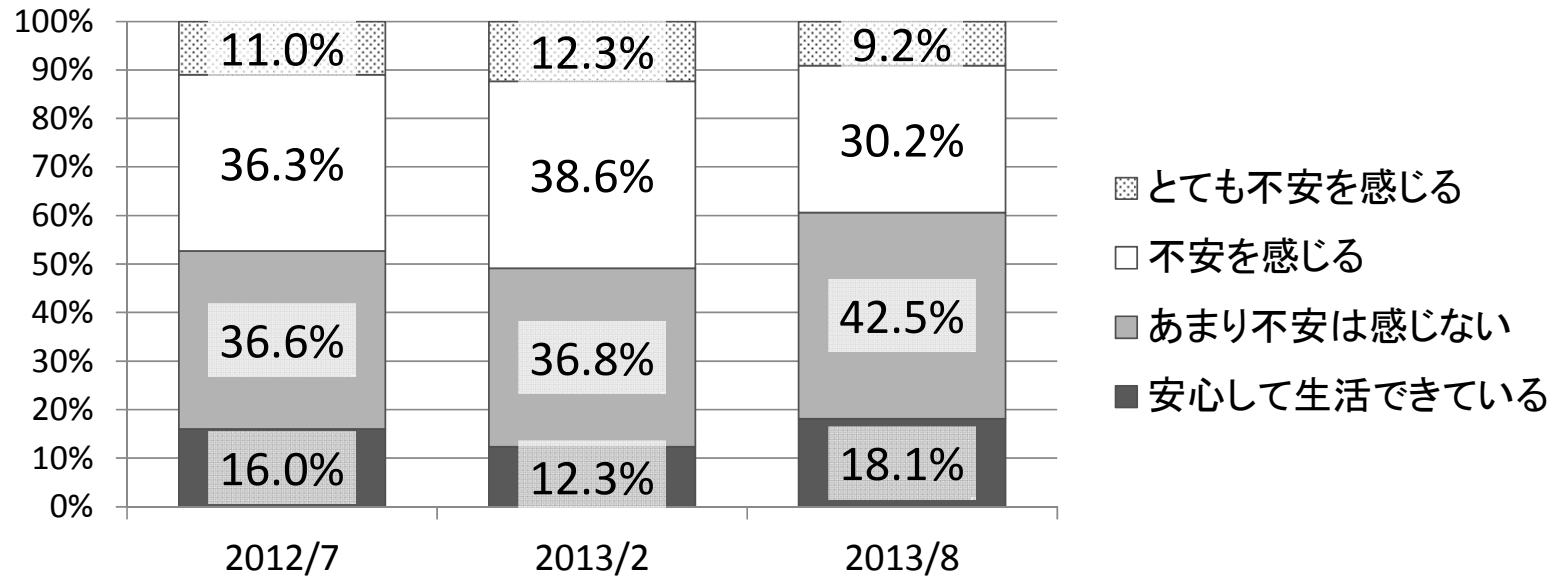
集会所利用状況	40代以下						50代						60代						70代以上						全体		
	男性			女性			男性			女性			男性			女性			男性			女性			全体		
	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8
月に6回以上	2%	4%	2%	3%	5%	2%	3%	4%	3%	5%	7%	6%	6%	6%	3%	9%	5%	11%	9%	21%	13%	13%	19%	19%	7%	10%	8%
月に3~5回	3%	8%	4%	3%	6%	4%	8%	1%	4%	6%	5%	7%	12%	10%	12%	17%	15%	14%	18%	14%	17%	27%	21%	24%	14%	11%	12%
月に1~2回	19%	21%	16%	21%	17%	16%	24%	30%	16%	33%	34%	20%	33%	38%	31%	37%	48%	34%	39%	39%	40%	36%	31%	35%	31%	33%	28%
利用していない	76%	67%	78%	73%	72%	77%	65%	65%	77%	56%	54%	67%	49%	46%	55%	37%	32%	41%	33%	26%	30%	25%	30%	23%	48%	46%	51%
回答者数	266	73	171	462	101	242	235	82	212	309	59	177	387	121	311	379	94	249	417	117	301	485	111	301	3275	839	2222

○キーマッセージ② 生活安心度は向上している。

○生活の安心度

- ・安心して生活できている、あまり不安を感じないと回答する割合が増加傾向にある。(調査結果14)
- 特に40代以下、50代で安心度が高まる傾向である。

生活安心度の比較



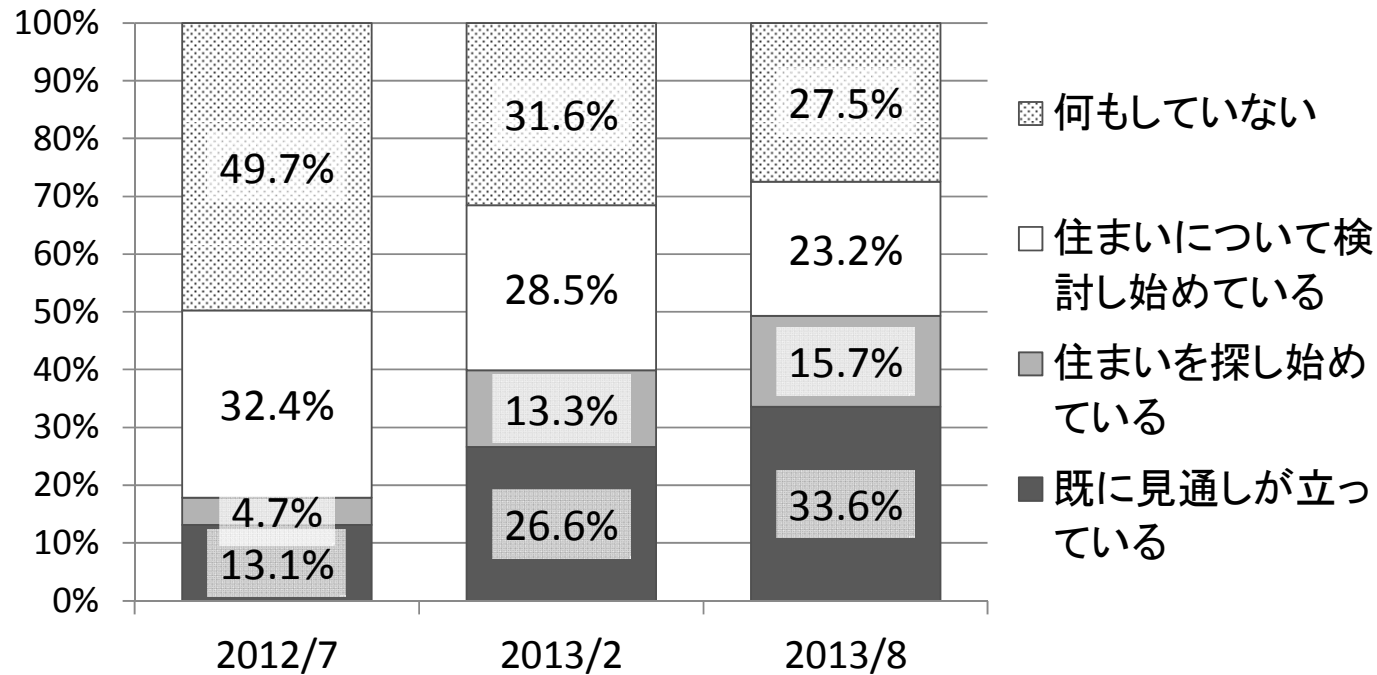
生活安心度	40代以下						50代						60代						70代以上						全体		
	男性			女性			男性			女性			男性			女性			男性			女性			全体		
	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8
安心して生活できている	17%	10%	16%	14%	11%	17%	17%	13%	20%	12%	11%	18%	13%	8%	15%	11%	9%	17%	19%	19%	21%	21%	17%	26%	16%	12%	18%
あまり不安は感じない	41%	48%	49%	36%	42%	44%	36%	26%	42%	35%	30%	39%	41%	47%	44%	36%	35%	41%	41%	32%	45%	33%	36%	36%	37%	37%	42%
不安を感じる	28%	27%	25%	36%	38%	31%	34%	47%	29%	37%	48%	26%	36%	30%	34%	42%	45%	31%	34%	33%	29%	36%	40%	30%	36%	39%	30%
とても不安を感じる	15%	15%	10%	13%	9%	8%	12%	14%	9%	16%	11%	16%	10%	16%	8%	10%	10%	11%	6%	16%	6%	10%	7%	7%	11%	12%	9%
回答者数	267	73	174	456	96	241	241	87	217	304	61	178	394	129	316	366	96	260	429	117	314	497	115	303	3291	861	2283

○キーメッセージ③ 住まいの見通しが立っている世帯の割合は増加傾向にある。

○住まいの見通しの傾向

- ・既に見通しが立っている割合がこの1年増加傾向にある。(調査結果16)
- ・具体的な見通しが立っているとの回答者のうち約95%が同一市町村内を希望している(調査結果17)
- ・見通しの立たない理由においては、半数以上が「高台移転、区画整理などが決定するのを待っている」と回答(調査結果18)

住まいの見通しの比較



住まいの見通し	40代以下						50代						60代						70代以上						全体		
	男性			女性			男性			女性			男性			女性			男性			女性			全体		
	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8
既に見通しが立っている	15%	20%	24%	12%	15%	30%	12%	24%	35%	11%	20%	32%	11%	25%	37%	13%	34%	39%	15%	33%	38%	16%	39%	35%	13%	27%	34%
住まいを探し始めている	5%	14%	14%	5%	16%	13%	4%	13%	18%	5%	7%	16%	5%	21%	17%	4%	9%	15%	5%	12%	17%	3%	8%	15%	5%	13%	16%
住まいについて検討し始めている	34%	42%	30%	35%	34%	29%	31%	28%	22%	35%	32%	21%	35%	24%	20%	30%	28%	24%	35%	20%	19%	29%	24%	19%	32%	29%	23%
何もしていない	46%	24%	32%	48%	34%	27%	53%	35%	25%	49%	41%	30%	49%	30%	26%	52%	29%	22%	45%	35%	26%	52%	29%	30%	50%	32%	28%
回答者数	253	74	167	446	97	235	236	83	202	293	56	165	380	105	246	351	76	190	404	81	208	462	62	188	3145	684	1778

○キーメッセージ④ 情報満足度は向上しているが、依然、約半数は、十分ではないと評価

○情報満足度

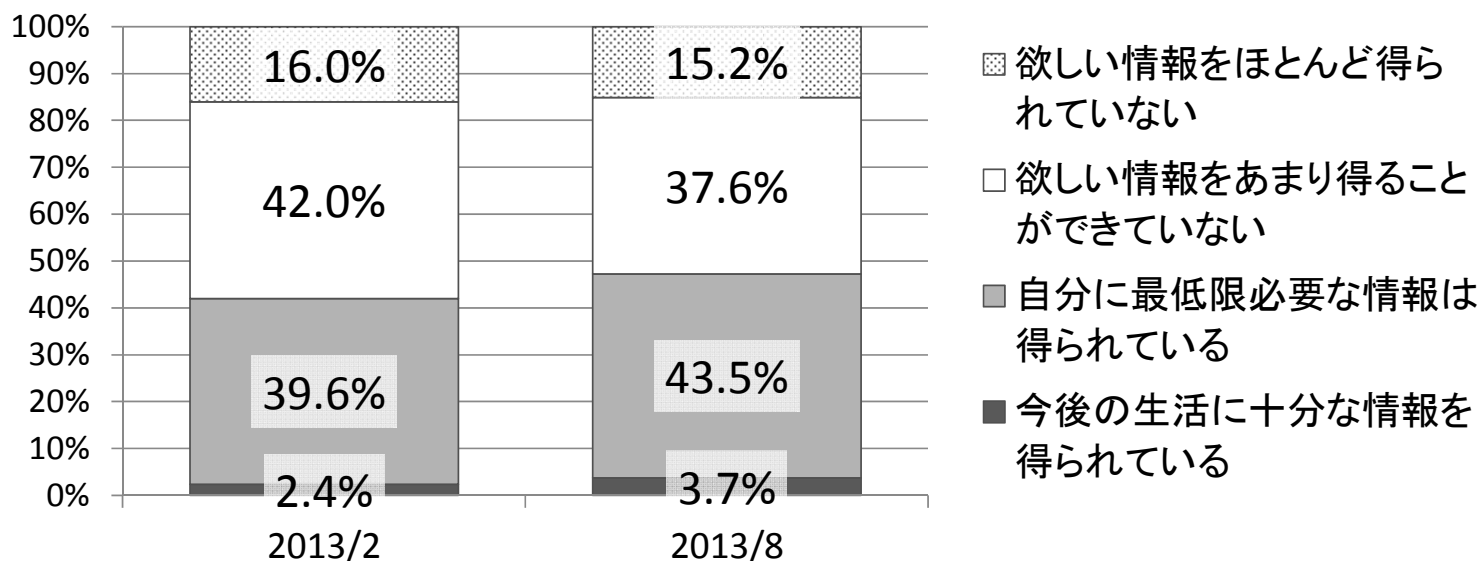
・生活再建のために必要な情報への満足度は、増加傾向にある。(調査結果21)

・しかし、まだ53%が必要な情報を得られていないと回答

・拡充してほしい情報における年代別の傾向は以下のとおり(調査結果22)

全体的に「生活資金の支援制度について」が増加傾向であり、50代男女、60代女性、70代男性でその傾向が強い。
50代、60代の女性で「災害公営住宅に関して」、60代以上では、「介護・福祉に関して」、60代以上の男性では、「仮設住宅内の情報」ニーズが増加傾向にある。

情報満足度



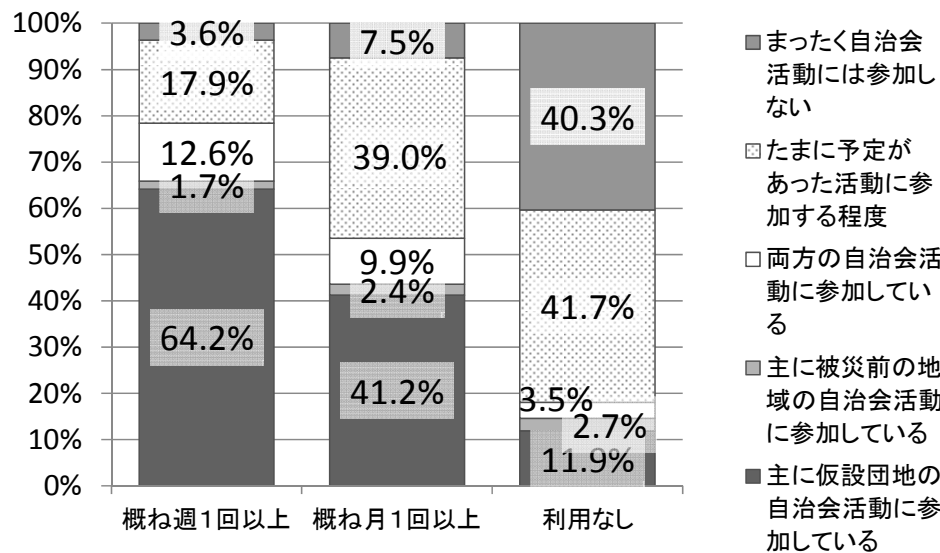
情報満足度	40代以下				50代				60代				70代以上				全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		2013/2	2013/8
	2013/2	2013/8	2013/2	2013/8	2013/2	2013/8	2013/2	2013/8	2013/2	2013/8	2013/2	2013/8	2013/2	2013/8				
今後の生活に十分な情報を得られている	3%	6%	1%	3%	2%	6%	3%	2%	2%	3%	2%	3%	3%	5%	3%	2%	2%	4%
自分に最低限必要な情報は得られている	45%	37%	39%	49%	39%	45%	40%	46%	38%	50%	44%	44%	40%	40%	36%	43%	40%	44%
欲しい情報をあまり得ることができていない	35%	43%	42%	35%	46%	35%	37%	37%	43%	34%	39%	38%	42%	38%	44%	38%	42%	38%
欲しい情報をほとんど得られていない	17%	14%	17%	13%	12%	14%	20%	14%	17%	13%	15%	15%	15%	17%	17%	17%	16%	15%
回答者数	75	171	99	238	84	212	60	183	118	296	93	254	112	298	107	290	836	2191

○キーメッセージ⑤ 集会所・談話室の利用は、生活の安心度の向上につながっている

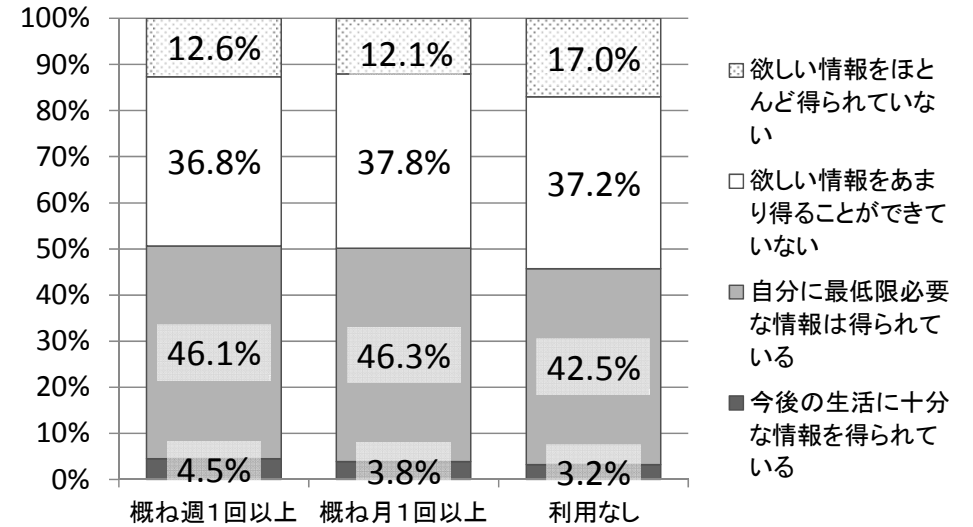
○集会所の利用頻度

これまでの調査と同様に、集会所の利用頻度が高いほど、①自治会への参加も高く(つまりサービスの享受者としてのみでなく、地域づくりとしての主体者としての活動も行っている傾向があり)、②生活再建や復興に関する情報満足度も高く、③また住まいの今後の見通しが立っており、④さらには生活の安心度が高い傾向にあった。

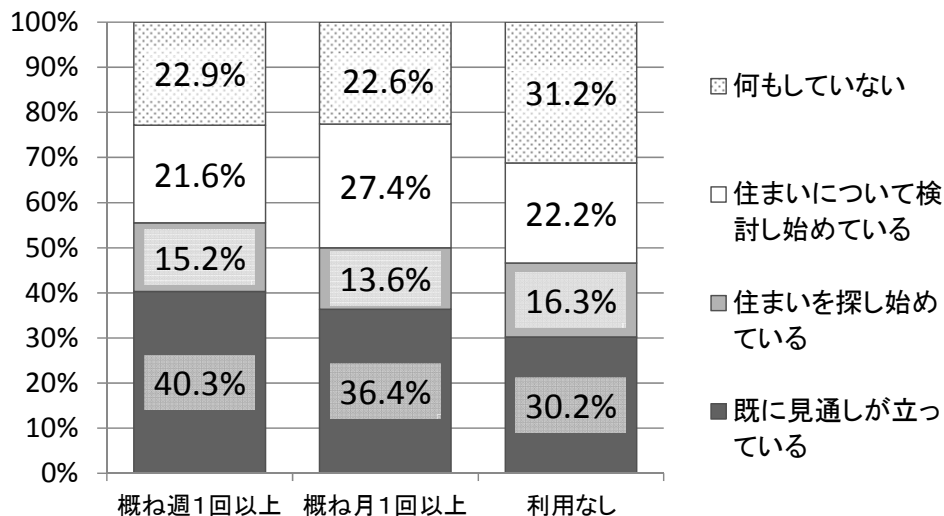
集会所利用頻度 × 自治会の参加傾向



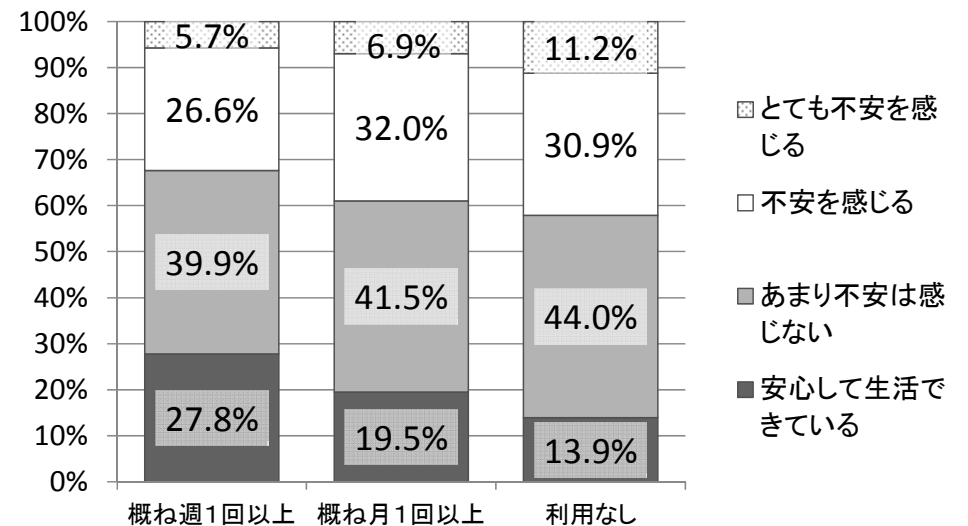
集会所利用頻度 × 情報満足度



集会所利用頻度 × 今後の見通し



集会所利用頻度 × 生活の安心度



○キーメッセージ⑥ 自治会への参加は生活の安心度の向上につながっている

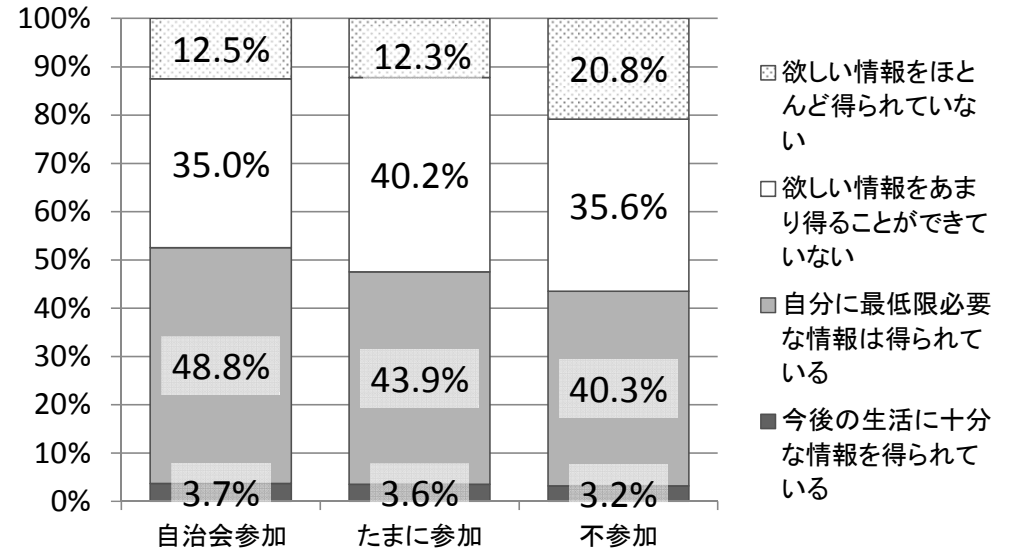
○自治会への参加

・自治会(仮設住宅の自治会への参加、震災以前の地域の自治会への参加、両方の自治会への参加)へ参加しているかどうかと、情報満足度、今後の見通し、生活への安心度の関係性を示した。

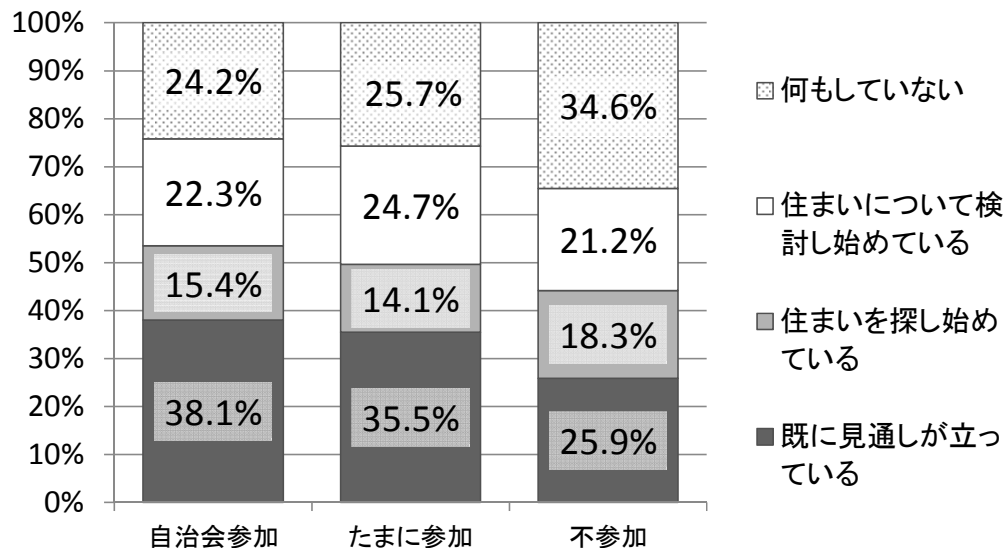
・集会所・談話室の利用頻度と同様に自治会に参加している方は生活再建や復興に関する情報満足度も高く、また住まいの今後の見通しが立っており、生活の安心度が高い傾向が示された。

・集会所の利用頻度は団地戸数等の影響等も認められるが、地域づくりとしての主体者として自治会へ参加することそのものも、生活の安心度への影響があることもこの結果より読み取ることができる。

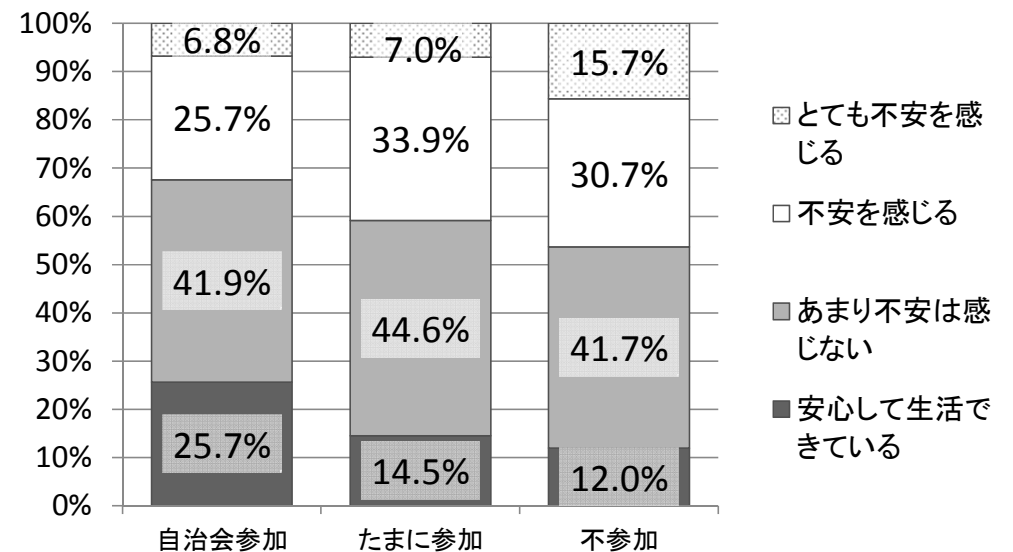
自治会への参加×情報満足度



自治会への参加×今後の見通し



自治会への参加×生活の安心度



< 調査結果報告 >

○調査結果1(基本属性:市町村別構成)

各市町村の年代別分布は以下のとおりである。

年代の分布は、2012年7月の調査と大きな偏りは認められなかった。

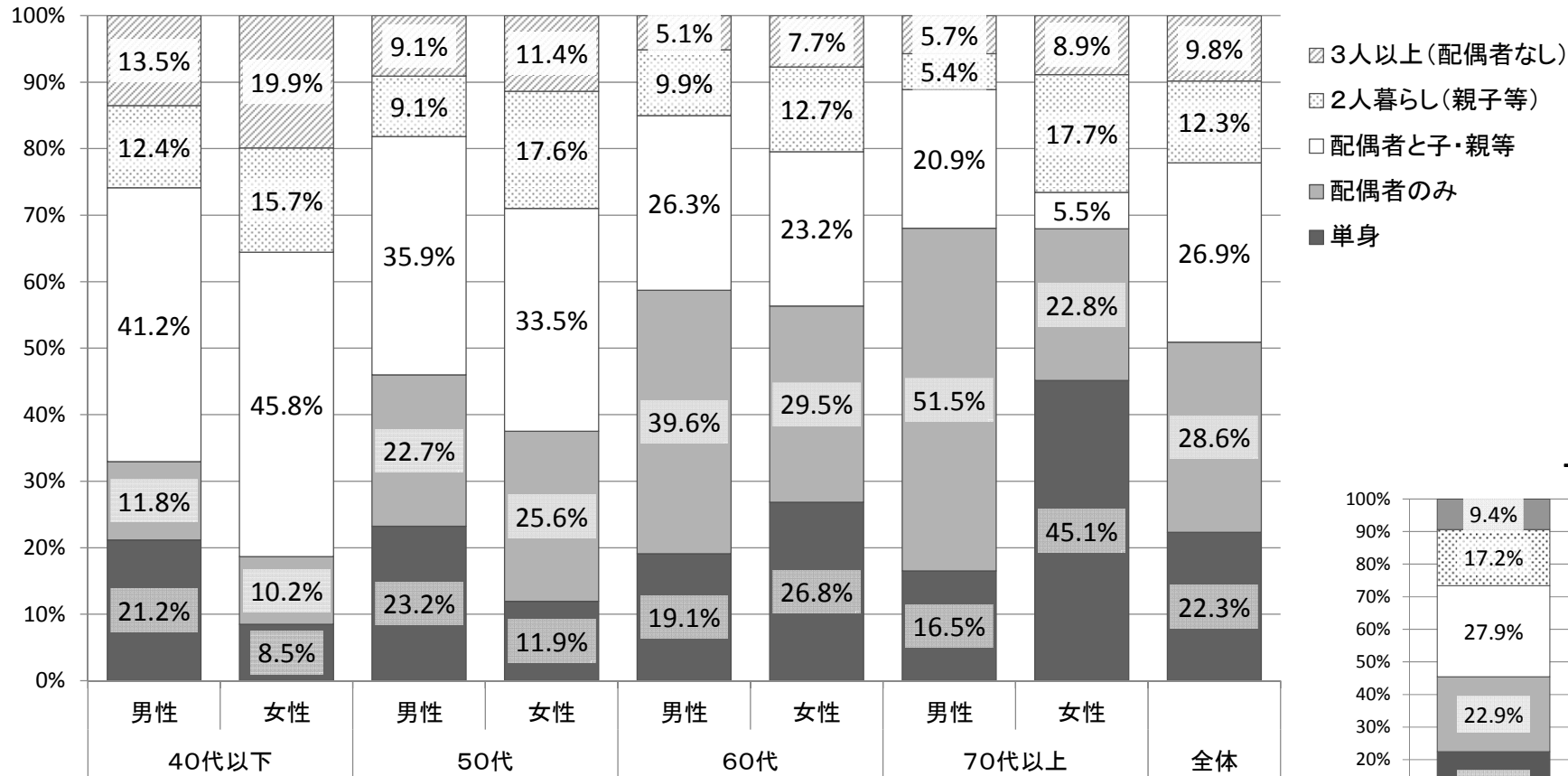
性別	宮古		山田		大槌		釜石		大船渡		陸前高田		総計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
男性	165	52.9%	136	37.1%	167	39.7%	243	47.2%	168	50.1%	197	41.5%	1076	44.4%
女性	116	37.2%	184	50.1%	199	47.3%	206	40.0%	128	38.2%	223	46.9%	1056	43.5%
未回答	31	9.9%	47	12.8%	55	13.1%	66	12.8%	39	11.6%	55	11.6%	293	12.1%
総計	312		367		421		515		335		475		2425	

年代	宮古		山田		大槌		釜石		大船渡		陸前高田		総計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代		0.0%		0.0%	1	0.2%		0.0%	2	0.6%		0.0%	3	0.1%
20代	6	1.9%	5	1.4%	3	0.7%	7	1.4%	2	0.6%	6	1.3%	29	1.2%
30代	20	6.4%	21	5.7%	17	4.0%	27	5.2%	20	6.0%	27	5.7%	132	5.4%
40代	49	15.7%	45	12.3%	55	13.1%	47	9.1%	31	9.3%	68	14.3%	295	12.2%
50代	65	20.8%	59	16.1%	86	20.4%	80	15.5%	60	17.9%	90	18.9%	440	18.1%
60代	89	28.5%	109	29.7%	116	27.6%	144	28.0%	101	30.1%	132	27.8%	691	28.5%
70代以上	81	26.0%	126	34.3%	137	32.5%	202	39.2%	112	33.4%	142	29.9%	800	33.0%
未回答	2	0.6%	2	0.5%	6	1.4%	8	1.6%	7	2.1%	10	2.1%	35	1.4%
総計	312		367		421		515		335		475		2425	

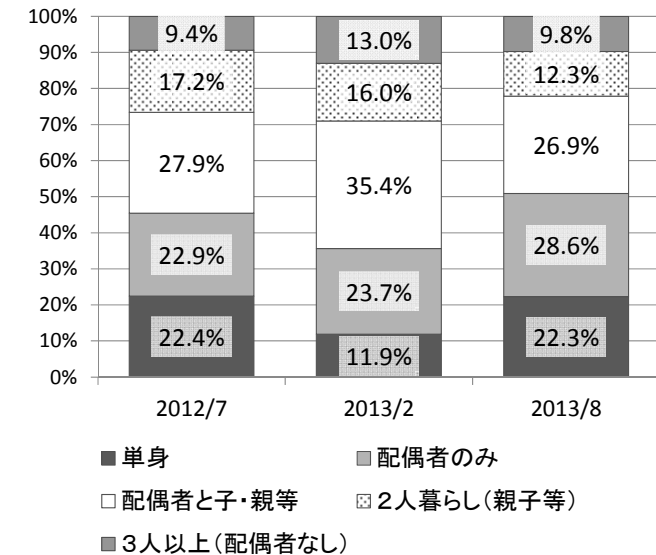
○調査結果2（基本属性：世帯構成）

・70代以上の女性で単身者が45.1%と高くなっており、70代以上では男女とも約7割が単身もしくは配偶者のみの世帯となっている。

世帯構成



世帯構成の比較

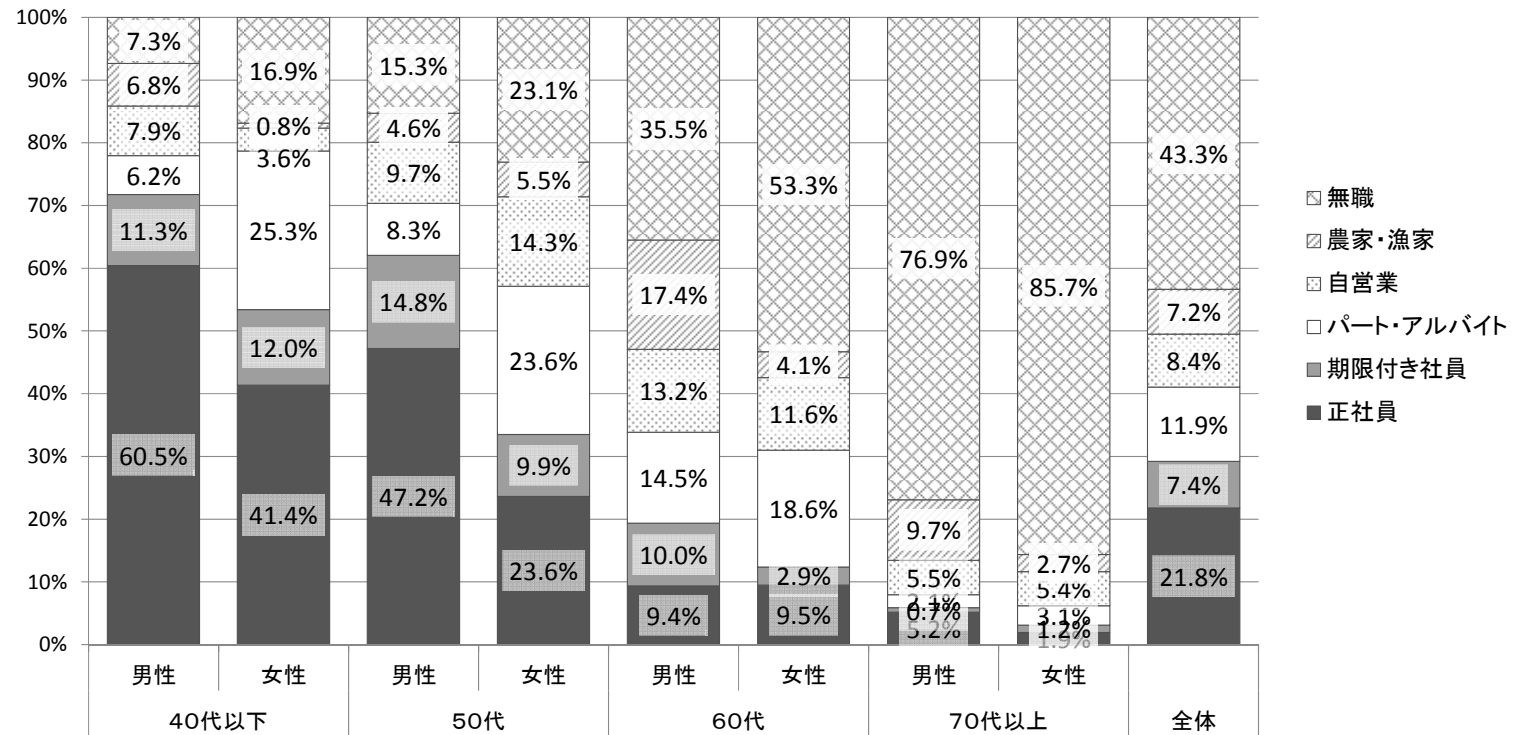


○調査結果3（就業状況）

就業の状況

・回答者の就業状況について年代別に整理した。
40代以下男性で正社員率が60%と最も高く、次いで、50代男性、40代以下女性の順となっている。

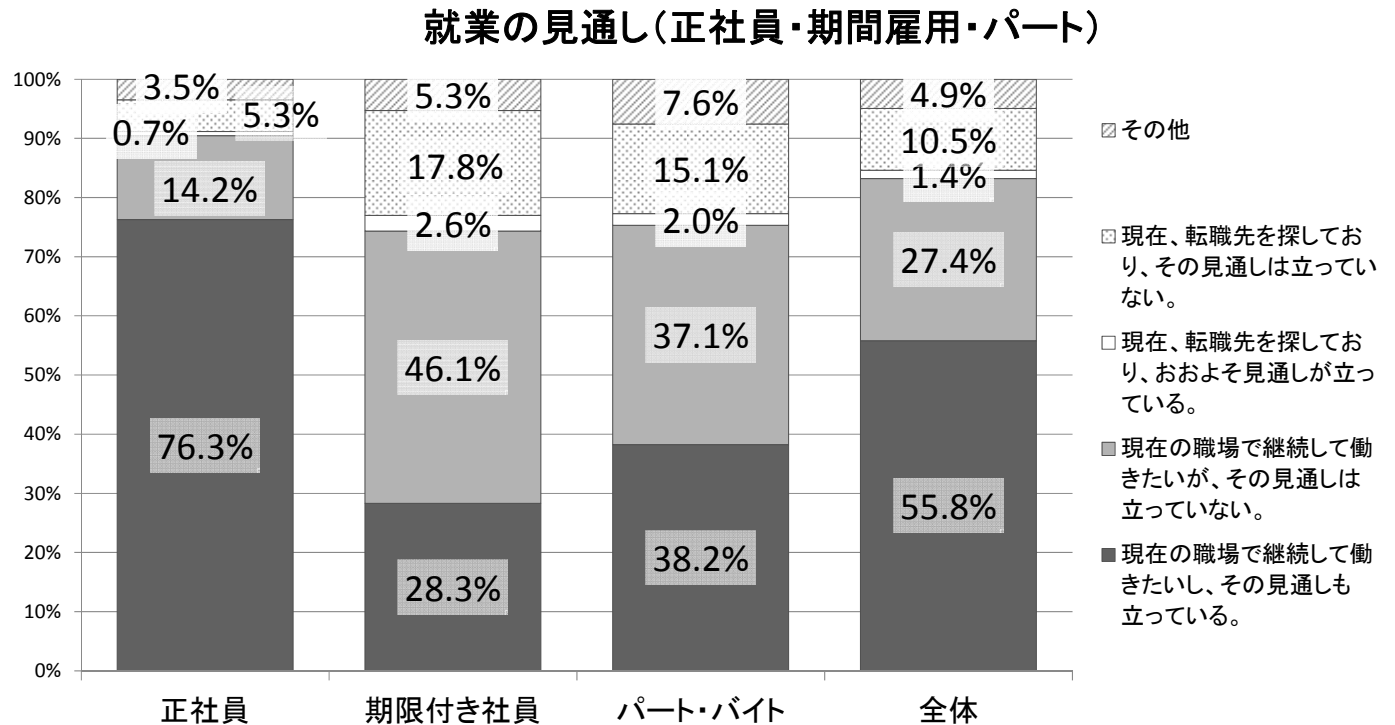
・これまでの調査との比較を行うと、50代以下の無職の割合が減少傾向にあり、また2013年からは50代以下女性の正社員率が増加していることが認められる。



就業状況	50代以下						60代以上						全体		
	男性			女性			男性			女性			全体		
	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8
正社員	50%	55%	53%	22%	36%	34%	4%	12%	7%	2%	8%	6%	15%	25%	22%
期限付き社員	9%	9%	13%	8%	12%	11%	5%	7%	6%	2%	5%	2%	5%	7%	7%
パート・アルバイト	6%	9%	7%	26%	19%	25%	7%	7%	9%	8%	11%	11%	12%	11%	12%
自営業(農家・漁家含まず)	9%	9%	9%	7%	7%	8%	8%	8%	10%	5%	6%	8%	7%	7%	8%
農家・漁家	8%	8%	6%	2%	2%	3%	13%	11%	14%	4%	4%	3%	6%	7%	7%
無職	18%	11%	12%	35%	24%	19%	62%	55%	56%	81%	66%	70%	54%	43%	43%
回答者数	502	161	393	760	165	431	810	215	600	862	186	500	3252	807	2162

○調査結果4（就業状況 正社員・期間雇用・パートにおける就業の見通し）

- ・正社員・期限付き社員・パート・アルバイトと回答した方を対象に、今後の就業の見通しについて質問をした。
- ・年代別に見ると、40代以下の男性のうち2／3が継続した就業の見通しが立っているが、60代の男性では、約4割が現在の職場で継続して勤務したいが見通しが立っていない。
- ・雇用形態別にみると、期限付き社員の46.1%、パート・アルバイトの37.1%が現在の職場で継続して働きたいが見通しが立っていないと回答している。

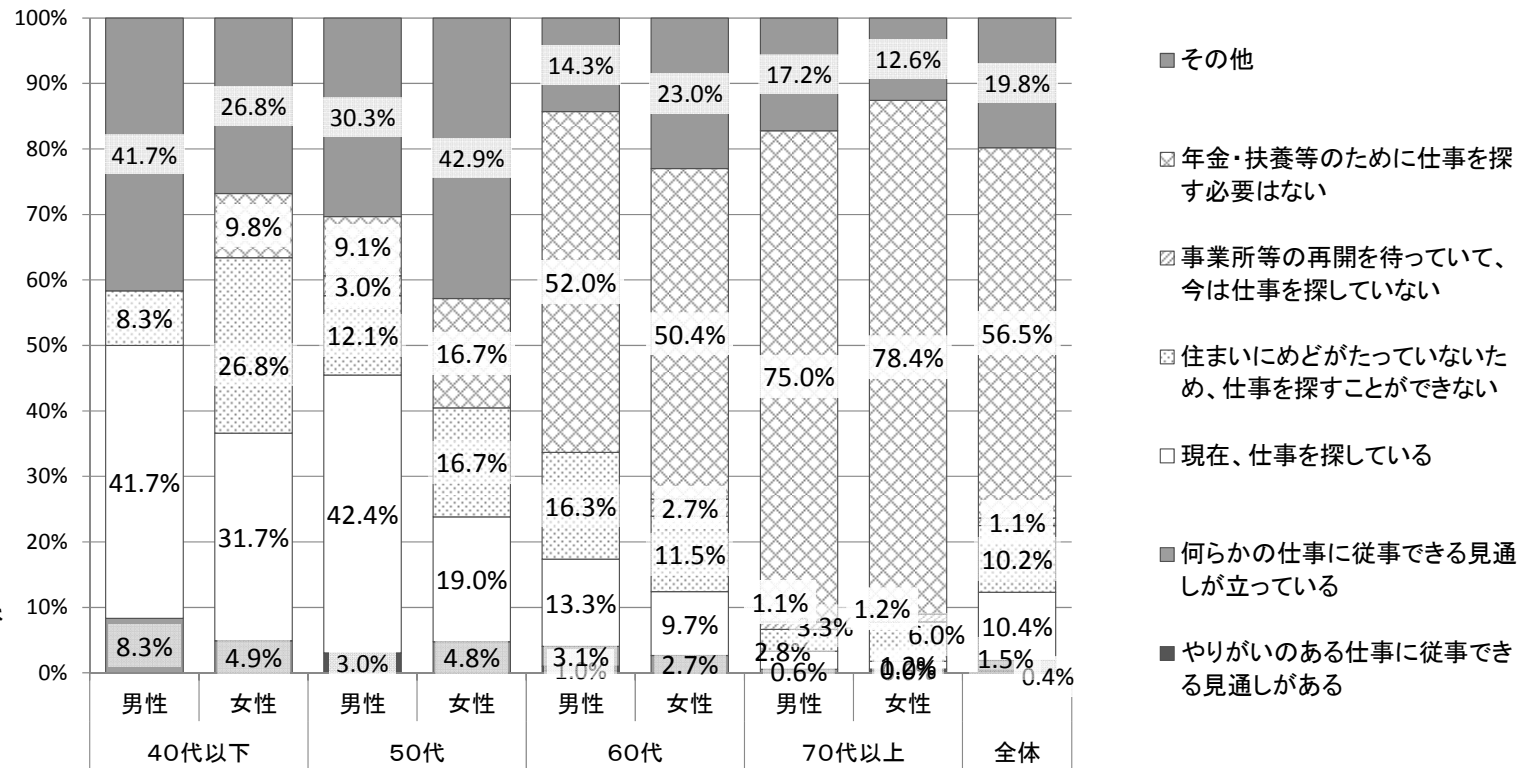


就業の見通し(正社員・期間付き社員・バイト)	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
現在の職場で継続して働きたいし、その見通しも立っている。	66.7%	54.6%	59.9%	59.8%	41.5%	50.7%	65.0%	66.7%	55.8%
現在の職場で継続して働きたいが、その見通しは立っていない。	18.2%	25.9%	22.4%	26.2%	42.5%	31.5%	30.0%	8.3%	27.4%
現在、転職先を探しており、おおよそ見通しが立っている。	2.3%	0.0%	0.0%	1.9%	2.8%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%
現在、転職先を探しており、その見通しは立っていない。	9.8%	14.6%	15.6%	5.6%	7.5%	8.2%	0.0%	8.3%	10.5%
その他	3.0%	4.9%	2.0%	6.5%	5.7%	8.2%	5.0%	16.7%	4.9%
回答者数	132	185	147	107	106	73	20	12	851

○調査結果5（就業状況 無職者の就業の見通し）

- ・無職の方で、今後の就業の見通しについて質問した。
- ・50代以下では、仕事の見通しが立っている割合は4.4%となっており、31.1%は仕事を探している状況となっている。
- ・60代以上は約2/3は年金、扶養のために、仕事を探す必要がないと回答している。
- ・無職の中で、今後の就業の見通しについて「その他」と回答した方の内訳としては、50代以下では「親の介護のために仕事に従事できない」「体調不良・病気療養中」であり、60代では、「働きたいが高齢のために雇用してくれない」「介護」「病気療養中」となっている。

就業の見通し(無職の方)



就業の見通し(無職)	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
やりがいのある仕事に従事できる見通しがある	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.4%
何らかの仕事に従事できる見通しが立っている	8.3%	4.9%	0.0%	4.8%	3.1%	2.7%	0.6%	0.0%	1.5%
現在、仕事を探している	41.7%	31.7%	42.4%	19.0%	13.3%	9.7%	2.8%	1.2%	10.4%
今後の住まいにめどがたっていないため、仕事を探すことができない	8.3%	26.8%	12.1%	16.7%	16.3%	11.5%	3.3%	6.0%	10.2%
希望している事業所等の再開を待っていて、今は仕事を探していない	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	2.7%	1.1%	1.2%	1.1%
年金・扶養等のために仕事を探す必要はない	0.0%	9.8%	9.1%	16.7%	52.0%	50.4%	75.0%	78.4%	56.5%
その他	41.7%	26.8%	30.3%	42.9%	14.3%	23.0%	17.2%	12.6%	19.8%
回答者数	12	41	33	42	98	113	180	167	787

○調査結果6（就業状況×世帯での役割）

・就業状況と年代別における世帯主・構成員の分類での整理した。

・50代以下の世帯主では、49.1%が正社員である一方、13.8%が無職となっている。

・また、50代以下の世帯主では、正社員、期限付き社員、パートの約6割が就業の見通しが立っているが、約35%は今後の見通しが立っていない。

・また、50代以下の世帯主で無職であるものの34.2%が現在、仕事を探している。

職業	50代以下		60代以上		総計
	世帯主	構成員	世帯主	構成員	
正社員	49.1%	33.2%	6.8%	8.1%	21.8%
期限付き社員	13.4%	10.3%	4.0%	3.8%	7.4%
パート・アルバイト	12.3%	22.9%	9.3%	9.2%	11.9%
自営業	7.2%	10.3%	8.3%	9.7%	8.4%
農家・漁家	4.3%	3.8%	9.7%	7.6%	7.2%
無職	13.8%	19.4%	61.9%	61.6%	43.3%
回答者数	538	319	1000	185	2162

就業の見通し	50代以下		60代以上		総計
	世帯主	構成員	世帯主	構成員	
現在の職場で継続して働きたいし、その見通しも立っている。	59.6%	60.2%	47.4%	45.7%	55.8%
現在の職場で継続して働きたいが、その見通しは立っていない。	21.0%	27.2%	37.9%	28.6%	27.4%
現在、転職先を探しており、おおよそ見通しが立っている。	1.6%	0.0%	2.1%	2.9%	1.4%
現在、転職先を探しており、その見通しは立っていない。	14.2%	7.3%	7.4%	8.6%	10.5%
その他	3.6%	5.3%	5.3%	14.3%	4.9%
回答者数	386	206	190	35	851

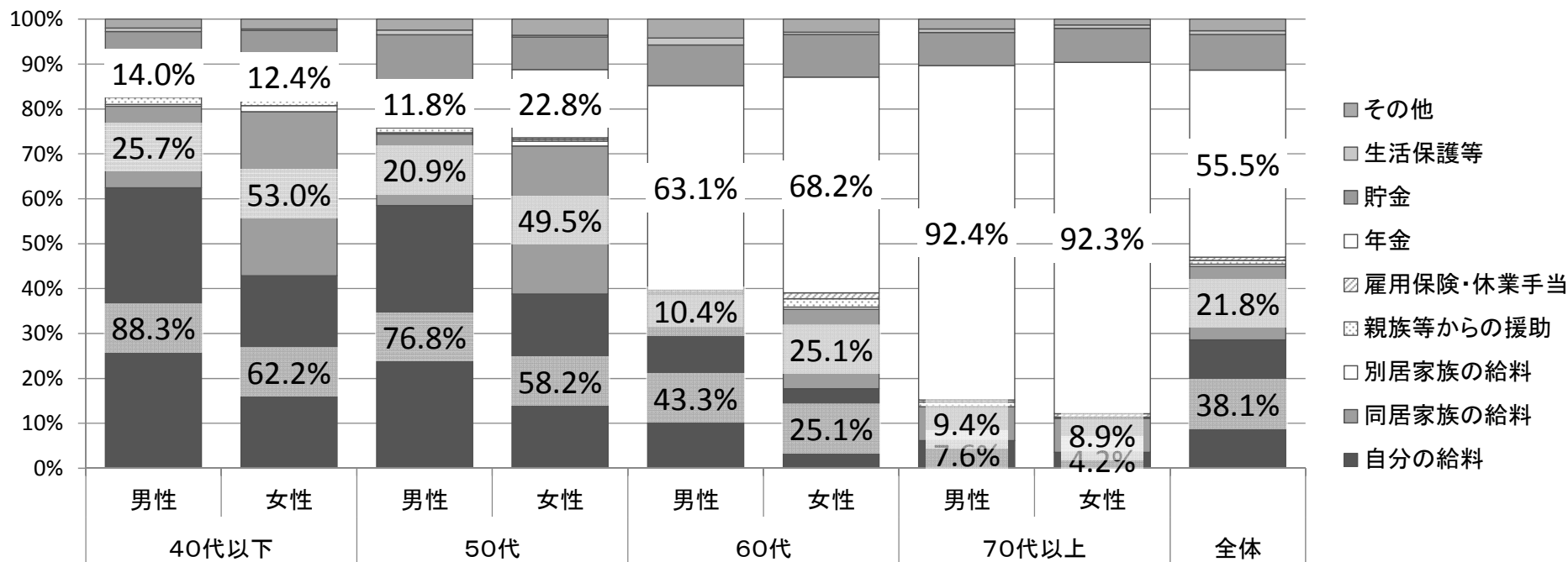
就業の見通し(無職)	50代以下		60代以上		総計
	世帯主	構成員	世帯主	構成員	
やりがいのある仕事に従事できる見通しがある	1.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%
何らかの仕事に従事できる見通しが立っている	1.4%	6.8%	0.8%	3.0%	1.5%
現在、仕事を探している	34.2%	28.8%	6.9%	3.0%	10.4%
今後の住まいにめどがたっていないため、仕事を探すことができない	15.1%	22.0%	9.7%	5.0%	10.2%
希望している事業所等の再開を待っていて、今は仕事を探していない	1.4%	0.0%	0.8%	3.0%	1.1%
年金・扶養等のために仕事を探す必要はない	15.1%	5.1%	66.2%	67.0%	56.5%
その他	31.5%	37.3%	15.2%	19.0%	19.8%
回答者数	73	59	506	100	787

○調査結果7（現在の世帯の主な収入について ※複数回答）

- ・現在の主な収入源を複数回答で質問した。
- ・50代以下では、自分の給料および同居家族の給料の割合が高く、60代以上では、年金の割合が高い。
- ・また、全体では、10.6%の方が貯金も主な生活資金として活用している。

世帯の主な収入	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
自分の給料	88.3%	62.2%	76.8%	58.2%	43.3%	25.1%	7.6%	4.2%	38.1%
同居家族の給料	25.7%	53.0%	20.9%	49.5%	10.4%	25.1%	9.4%	8.9%	21.8%
別居家族の給料	0.6%	2.0%	0.5%	1.6%	0.0%	0.7%	0.0%	0.3%	0.7%
親族等からの援助	2.2%	1.6%	1.4%	0.5%	0.6%	2.6%	1.2%	0.0%	1.1%
雇用保険・休業手当	0.6%	1.6%	1.4%	0.5%	0.6%	1.9%	0.6%	0.9%	1.0%
年金	14.0%	12.4%	11.8%	22.8%	63.1%	68.2%	92.4%	92.3%	55.5%
貯金	6.1%	8.8%	14.1%	10.9%	12.5%	13.5%	9.1%	8.9%	10.6%
生活保護等	1.1%	0.4%	1.4%	0.5%	2.1%	0.7%	0.9%	0.9%	1.2%
その他	2.8%	3.2%	3.2%	5.4%	5.8%	4.1%	2.7%	1.5%	3.4%
回答者数	179	251	220	184	328	267	329	336	2381

世帯の主な収入

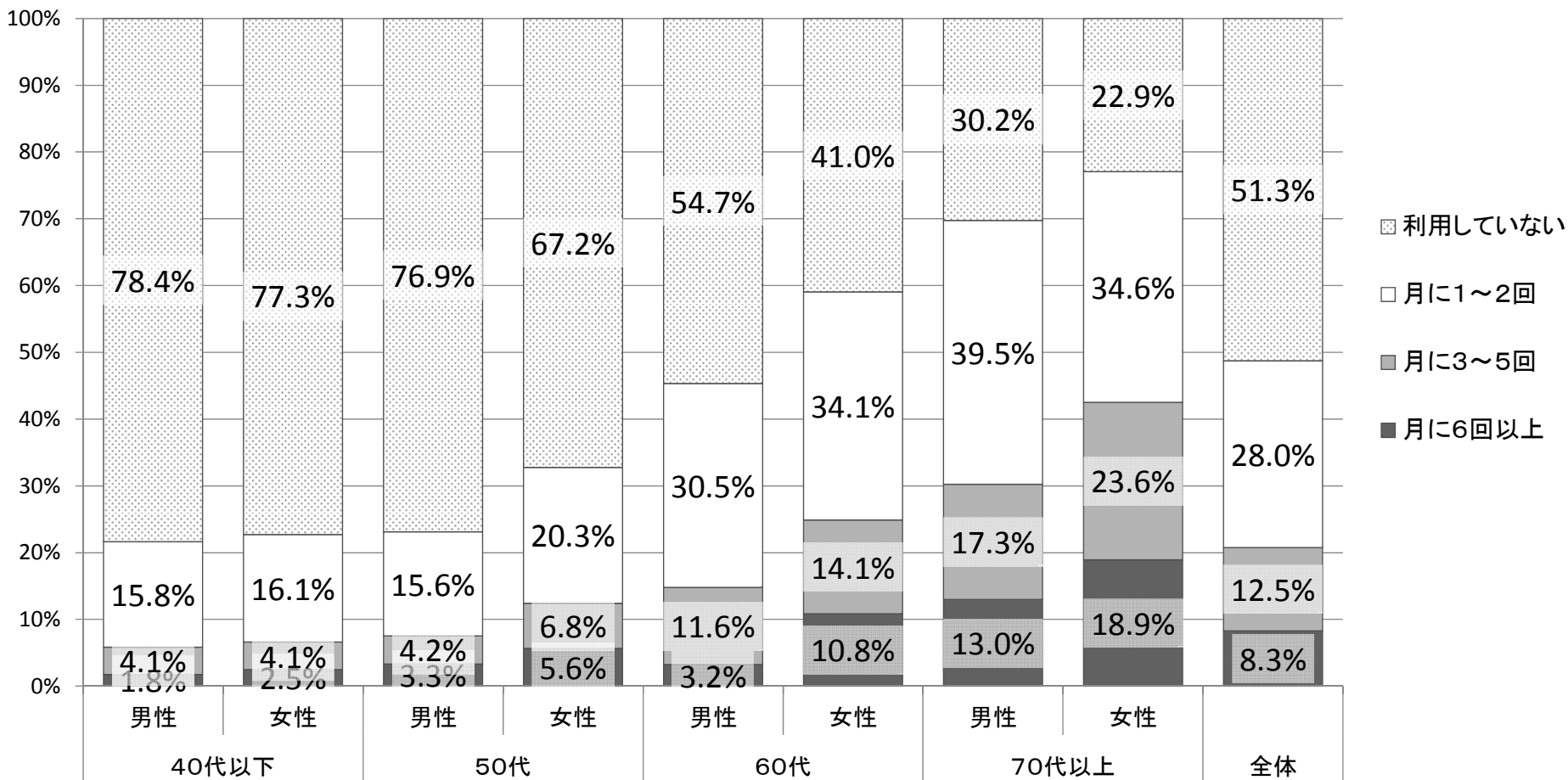


○調査結果8（コミュニティ：集会所・談話室の利用頻度および満足度）

- ・集会所の利用頻度について質問した。
- ・70代以上女性の42.5%、70代以上男性も30.3%が概ね週1回以上（月6回以上、月3～5回の合算）集会所を利用しており、高齢であるほど、また女性であるほど、集会所を活用している。
- ・また、40代以下の男女や約8割が集会所を利用していない。

集会所・談話室の利用状況	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
月に6回以上	1.8%	2.5%	3.3%	5.6%	3.2%	10.8%	13.0%	18.9%	8.3%
月に3～5回	4.1%	4.1%	4.2%	6.8%	11.6%	14.1%	17.3%	23.6%	12.5%
月に1～2回	15.8%	16.1%	15.6%	20.3%	30.5%	34.1%	39.5%	34.6%	28.0%
利用していない	78.4%	77.3%	76.9%	67.2%	54.7%	41.0%	30.2%	22.9%	51.3%
回答者数	171	242	212	177	311	249	301	301	2222

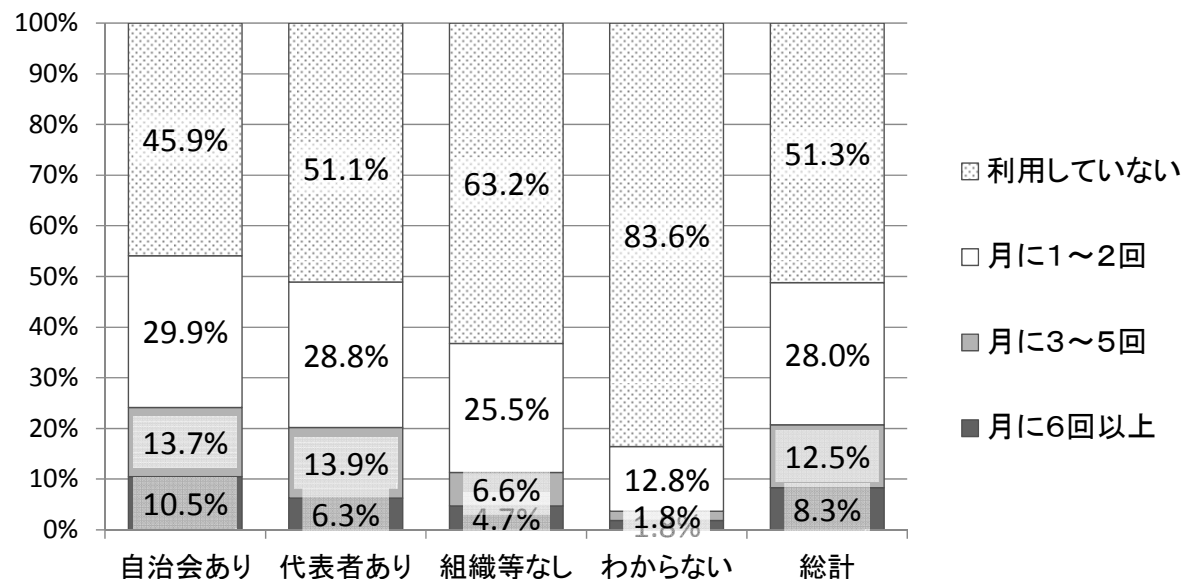
集会所・談話室の利用状況



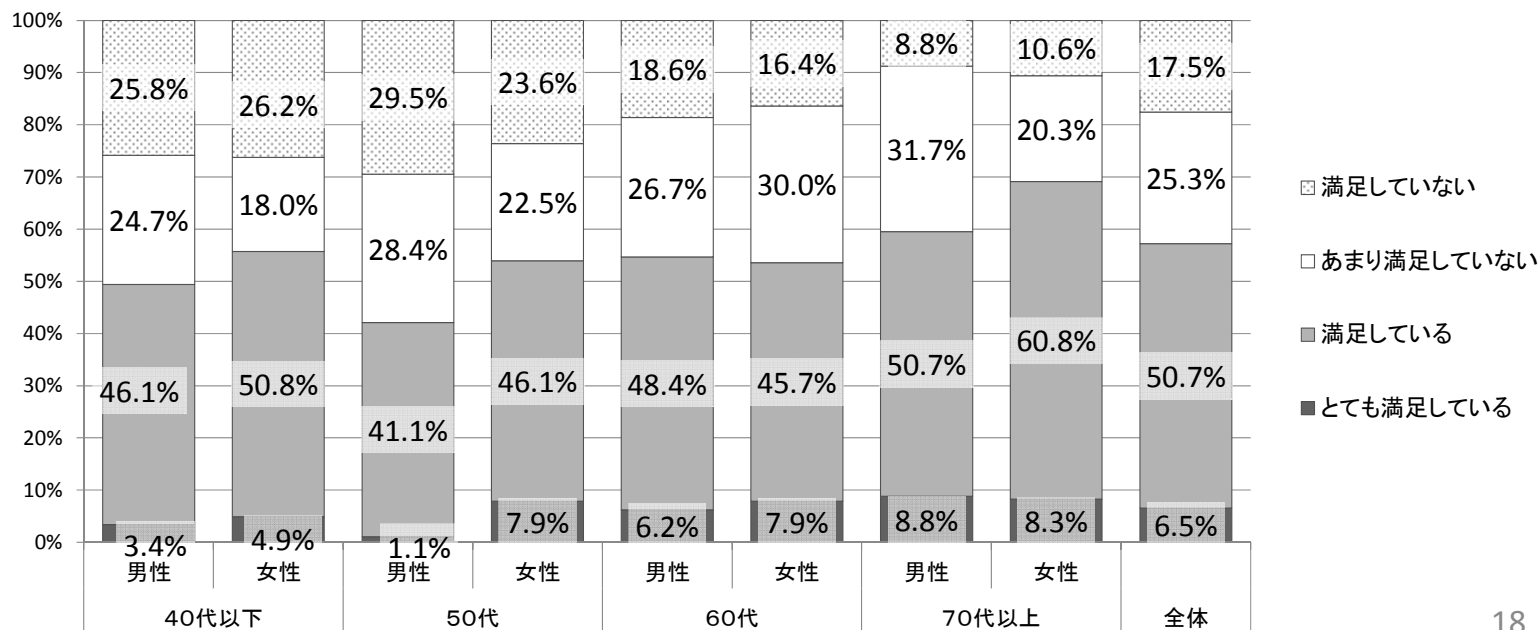
○調査結果9 (コミュニティ:集会所・談話室の利用頻度および満足度)

- ・自治会の認知による傾向を整理した。
- ・自治会が設置されていない、あるいは自治会があるかどうかわからないと回答した方は、集会所、談話室の利用頻度も低い傾向にあった。

自治会の認知×集会所利用率



集会所・談話室の利用満足度

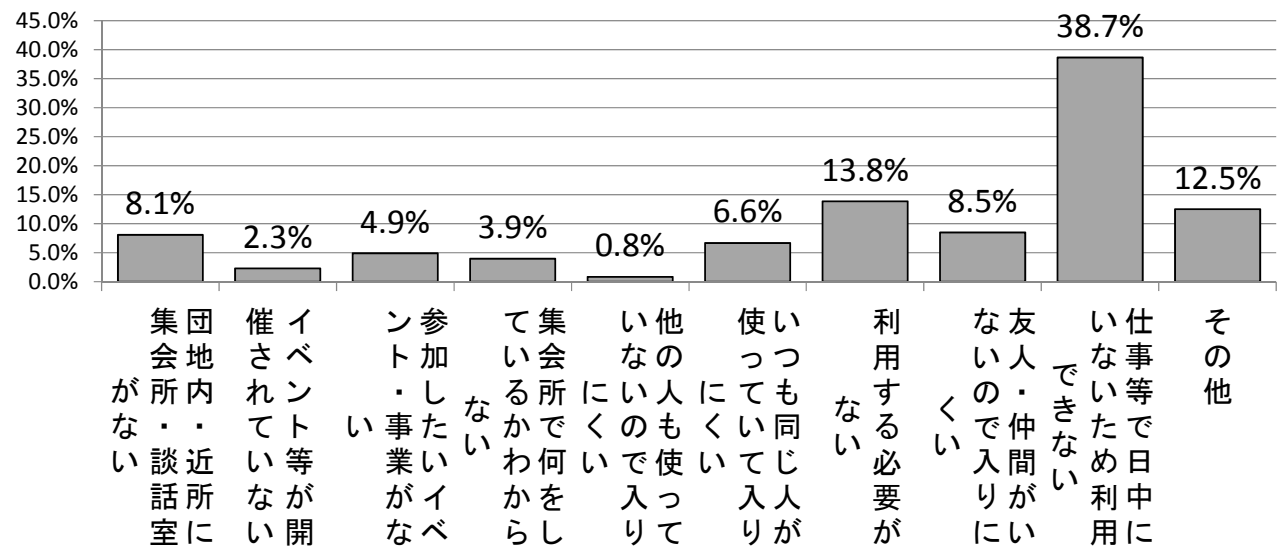


- ・集会所の利用満足度は、全体の57.2%が満足(とても満足している、満足しているの合算)と評価し、高齢であるほど、女性であるほど、満足度は高くなっている。

○調査結果10 (コミュニティ:集会所・談話室を利用しない理由)

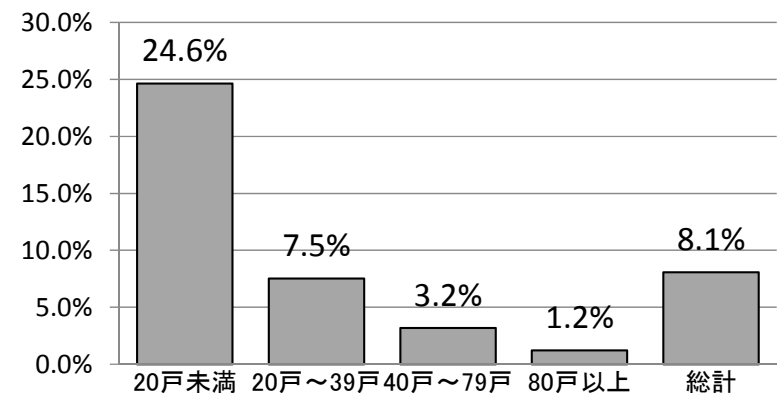
- ・「集会所を利用していない」と回答した対象者へ、利用しない理由を質問した。
- ・40代以下の男性では21.9%が「利用する必要がない」と回答している。
- ・70代以上の男性は10.3%が「参加したいイベント・事業がない」と回答しており、他年代より高い傾向にある。
- ・団地の規模別にみると、20戸未満では、「団地内・近所に集会所・談話室がない」と、回答している割合が高くなっている。

集会所・談話室を利用しない理由



集会所・談話室を利用しない理由	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
団地内・近所に集会所・談話室がない	2.7%	8.5%	6.3%	9.4%	5.8%	11.2%	8.2%	13.0%	8.1%
イベント等が開催されていない	0.7%	1.5%	1.1%	2.2%	2.4%	3.0%	4.1%	4.3%	2.3%
参加したいイベント・事業がない	3.4%	5.5%	4.0%	1.4%	3.9%	6.0%	10.3%	4.3%	4.9%
集会所で何をしたいかわからない	2.1%	2.5%	5.7%	0.7%	3.4%	3.0%	3.4%	6.1%	3.9%
他の人も使っていないので入りにくい	1.4%	0.5%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.4%	2.6%	0.8%
いつも同じ人が使っていて入りにくい	4.1%	4.0%	4.0%	5.1%	6.3%	11.2%	10.3%	9.6%	6.6%
利用する必要がない	21.9%	11.5%	16.6%	13.0%	17.0%	8.2%	11.0%	13.0%	13.8%
友人・仲間がいないので入りにくい	6.2%	6.5%	4.0%	3.6%	10.7%	9.0%	20.5%	6.1%	8.5%
仕事等で日中いないため利用できない	51.4%	50.0%	50.9%	51.4%	39.8%	32.1%	14.4%	16.5%	38.7%
その他	6.2%	9.5%	7.4%	13.0%	9.7%	16.4%	16.4%	24.3%	12.5%
回答者数	146	200	175	138	206	134	146	115	1402

集会所・談話室を利用しない理由で「団地内・近所に集会所がない」を選択した割合



○調査結果11（自治会の認知）

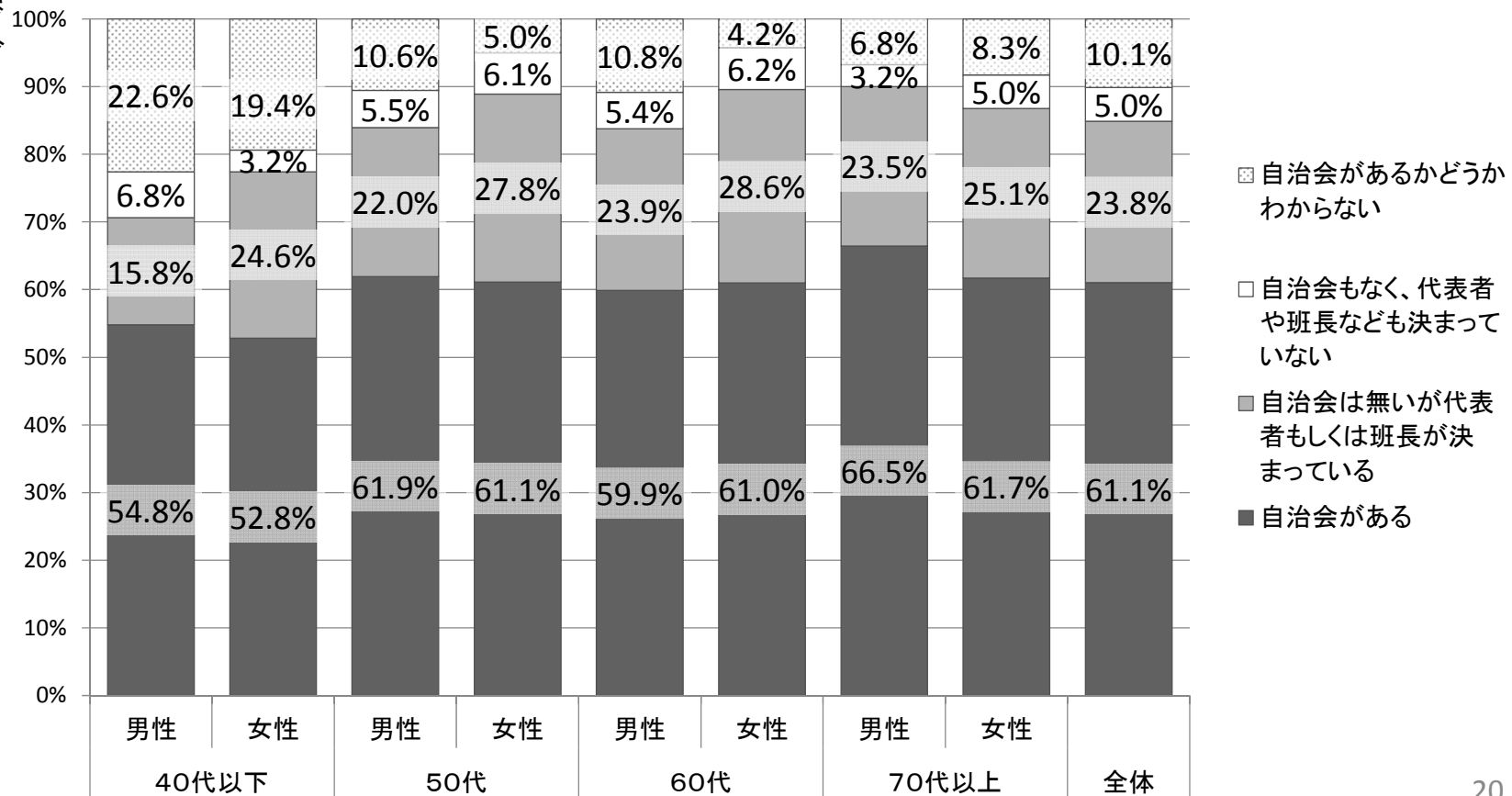
・自治会、代表者に関する認知について質問した。

・全体の61.1%が自治会があると回答し、代表者が定められていると回答した23.8%と合わせ、約85%では、仮設団地内に自治のための組織があることを認知している。

・年代別に見ると、40代以下では、約2割が自治会があるかどうか分からないと回答し、他年代と比較し、高い割合を示している。

自治会の認知	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
自治会がある	54.8%	52.8%	61.9%	61.1%	59.9%	61.0%	66.5%	61.7%	61.1%
自治会はないが代表者もしくは班長が決まっている	15.8%	24.6%	22.0%	27.8%	23.9%	28.6%	23.5%	25.1%	23.8%
自治会もなく、代表者や班長なども決まっていない	6.8%	3.2%	5.5%	6.1%	5.4%	6.2%	3.2%	5.0%	5.0%
自治会があるかどうか分からない	22.6%	19.4%	10.6%	5.0%	10.8%	4.2%	6.8%	8.3%	10.1%
回答者数	177	248	218	180	314	259	310	303	2270

自治会の認知



○調査結果12（自治会活動への参加）

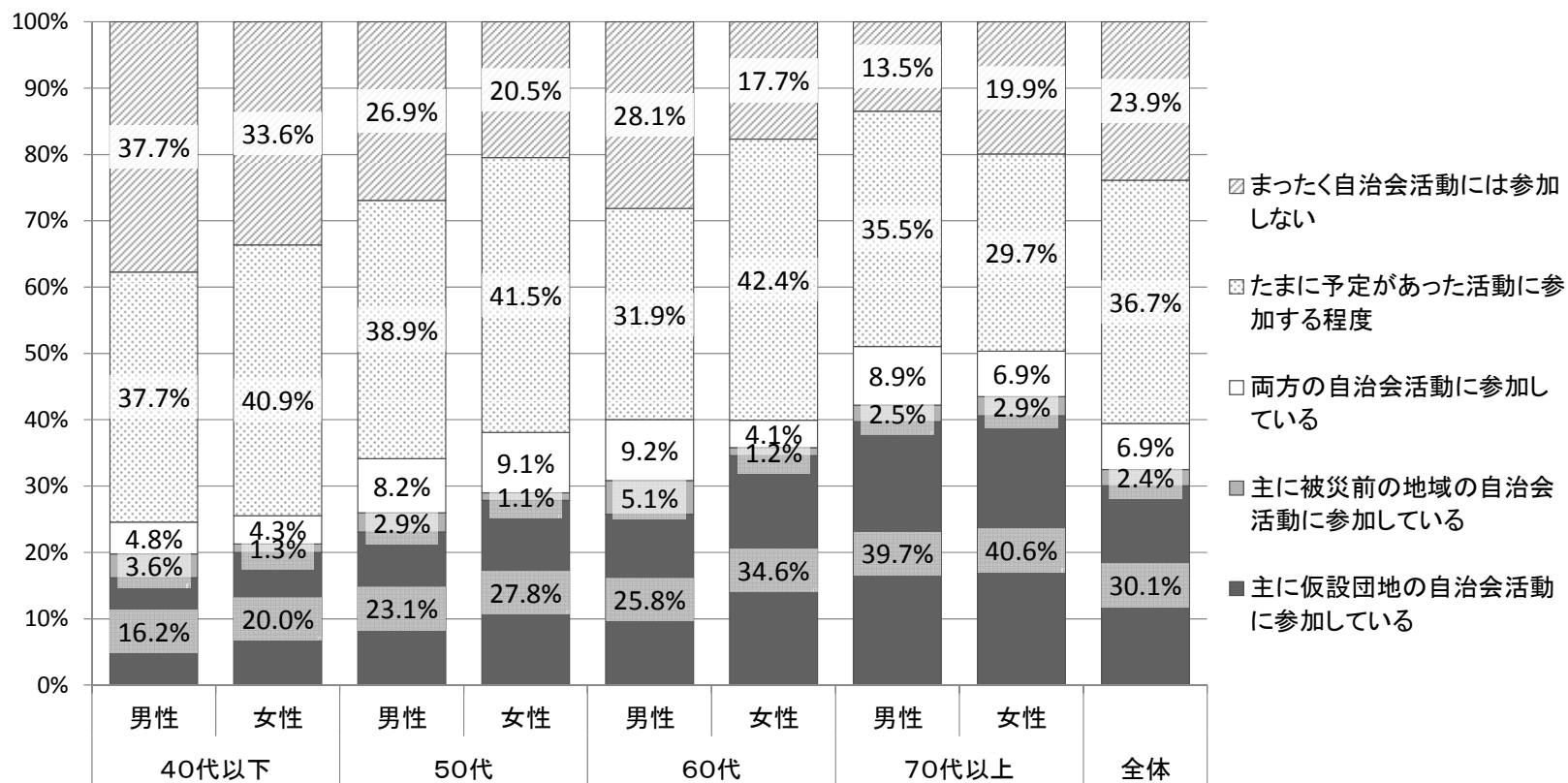
・自治会への参加状況について質問した。

・全体の30.1%が「主に仮設団地の自治会へ参加している」と回答し、6.9%が「仮設団地、被災前の両方の自治会に参加している」と回答した。

・年代別に見ると、40代以下では、男女とも「まったく自治会に参加していない」と回答する割合が高かった。

自治会活動への参加	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
主に仮設団地の自治会活動に参加している	16.2%	20.0%	23.1%	27.8%	25.8%	34.6%	39.7%	40.6%	30.1%
主に被災前の地域の自治会活動に参加している	3.6%	1.3%	2.9%	1.1%	5.1%	1.2%	2.5%	2.9%	2.4%
両方の自治会活動に参加している	4.8%	4.3%	8.2%	9.1%	9.2%	4.1%	8.9%	6.9%	6.9%
たまに予定があった活動に参加する程度	37.7%	40.9%	38.9%	41.5%	31.9%	42.4%	35.5%	29.7%	36.7%
まったく自治会活動には参加しない	37.7%	33.6%	26.9%	20.5%	28.1%	17.7%	13.5%	19.9%	23.9%
回答者数	167	235	208	176	295	243	282	276	2125

自治会活動への参加状況



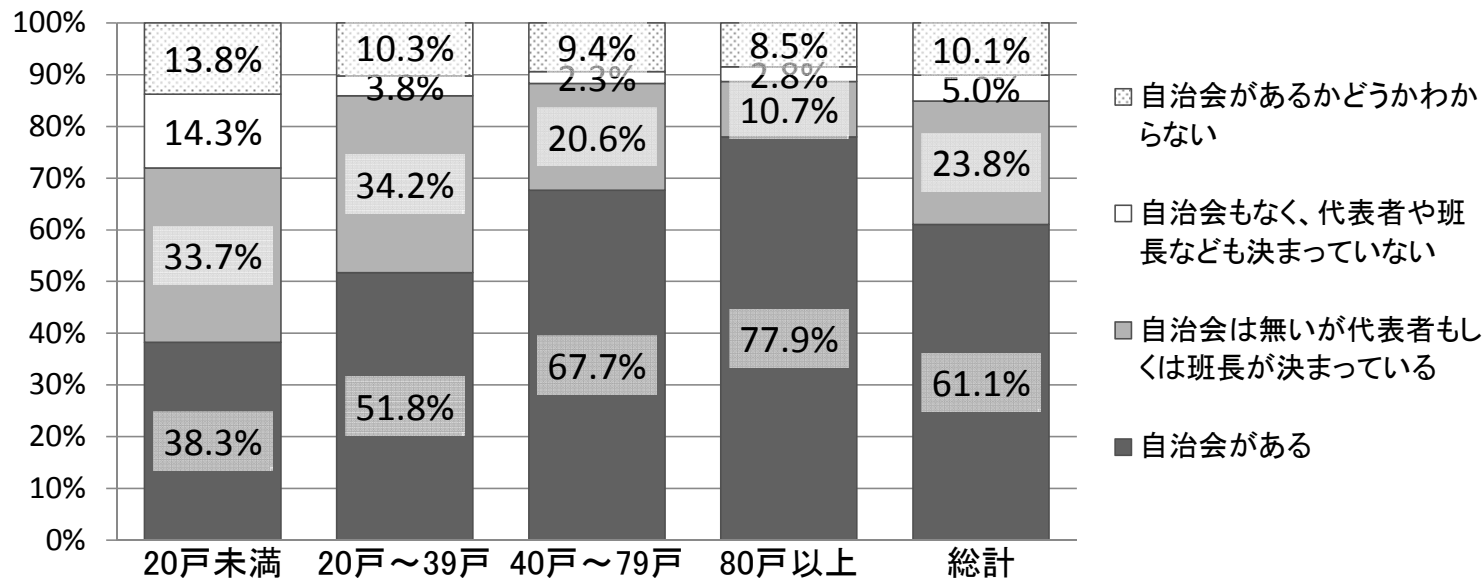
○調査結果13（団地の規模別の自治会認知と自治会への参加）

・仮設団地の規模別に自治会の状況を整理した。

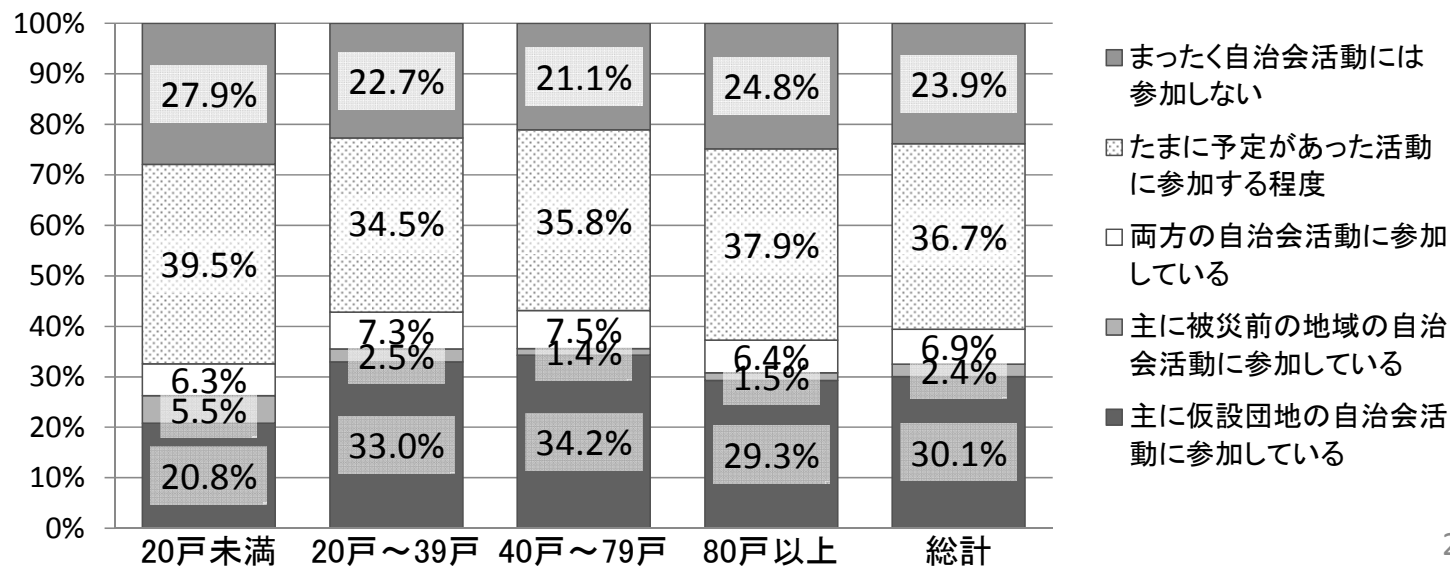
・自治会設置の認知においては、戸数が多いほど、自治会の設立状況が高い傾向となっている。

・また、自治会活動への参加においては、20戸未満の団地では、団地内自治会への参加は低い傾向にあったものの、その他での偏りは認められなかった。

団地規模×自治会設置の認知



団地規模×自治会活動への参加

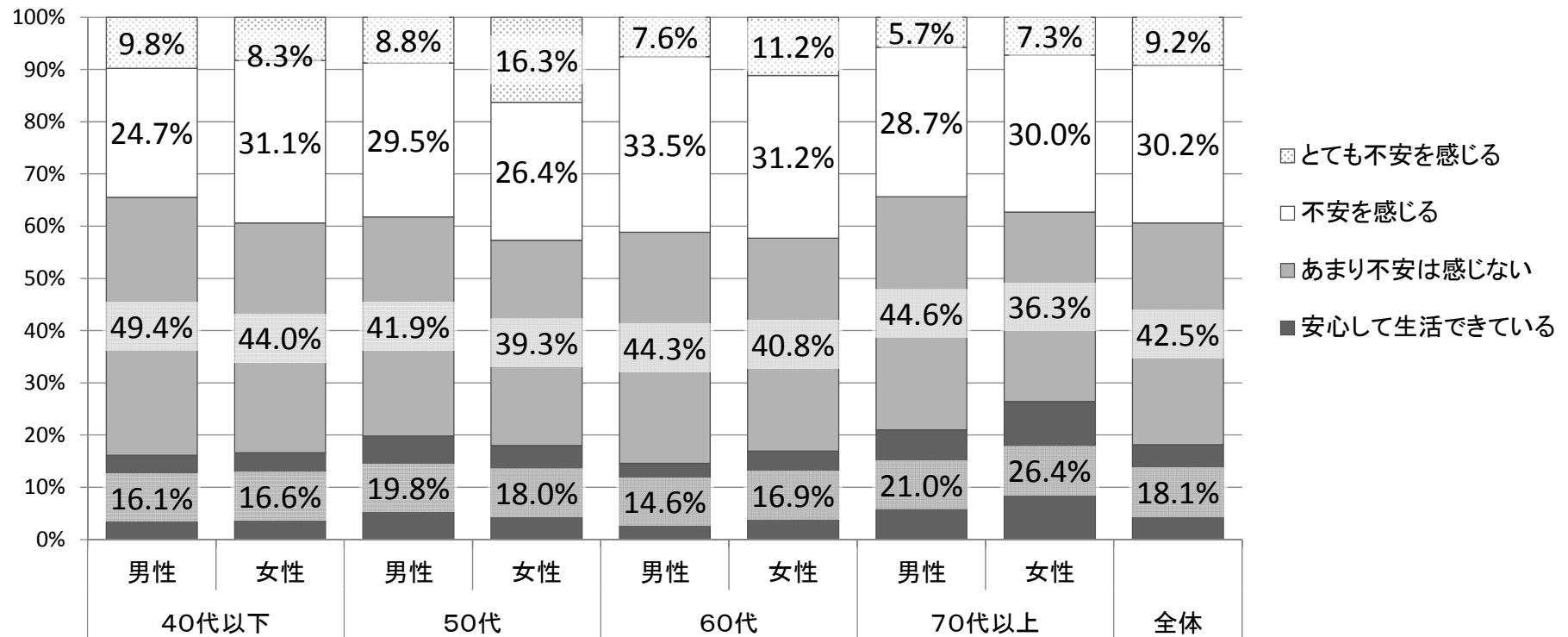


○調査結果14（生活満足度：生活への安心度・不安の有無）

- ・生活安心度について質問した。
- ・全体では「安心して生活できている」が18.1%、「あまり不安を感じない」が42.5%となり、約6割は不安を感じずに生活ができている。
- ・70代以上の女性は26.4%が「安心して生活できている」と回答しており、各年代でもっとも高かった。

生活の安心度	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
安心して生活できている	16.1%	16.6%	19.8%	18.0%	14.6%	16.9%	21.0%	26.4%	18.1%
あまり不安を感じない	49.4%	44.0%	41.9%	39.3%	44.3%	40.8%	44.6%	36.3%	42.5%
不安を感じる	24.7%	31.1%	29.5%	26.4%	33.5%	31.2%	28.7%	30.0%	30.2%
とても不安を感じる	9.8%	8.3%	8.8%	16.3%	7.6%	11.2%	5.7%	7.3%	9.2%
回答者数	174	241	217	178	316	260	314	303	2283

生活の安心度

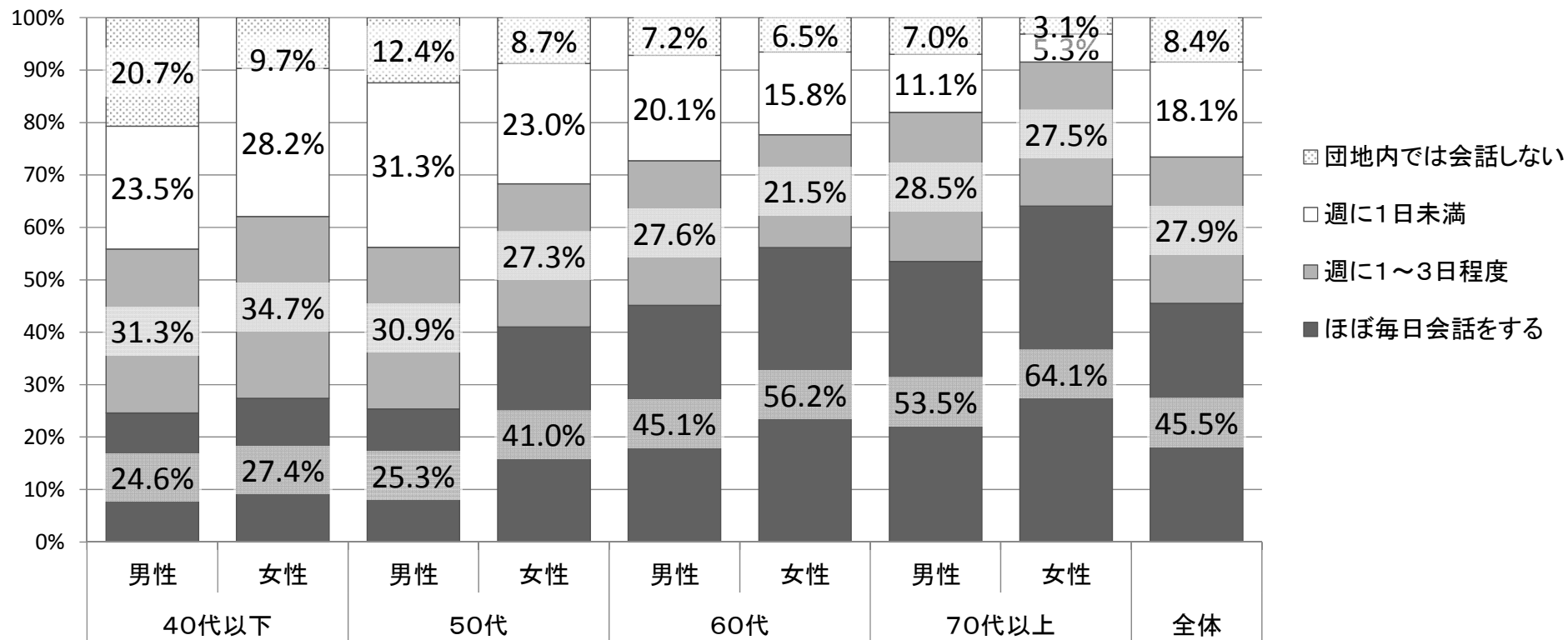


○調査結果15(対人関係:仮設団地内での会話頻度)

- ・団地内の会話頻度について、質問した。
- ・全体の45.5%が「団地内ではほぼ毎日会話する」と回答しており、年代が高いほど、また女性であるほど団地内での会話頻度は高い。
- ・また、40代以下の男性では、20.7%が「団地内では会話しない」と回答している。

団地内の会話頻度	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
ほぼ毎日会話をする	24.6%	27.4%	25.3%	41.0%	45.1%	56.2%	53.5%	64.1%	45.5%
週に1~3日程度	31.3%	34.7%	30.9%	27.3%	27.6%	21.5%	28.5%	27.5%	27.9%
週に1日未満	23.5%	28.2%	31.3%	23.0%	20.1%	15.8%	11.1%	5.3%	18.1%
団地内では会話しない	20.7%	9.7%	12.4%	8.7%	7.2%	6.5%	7.0%	3.1%	8.4%
回答者数	179	248	217	183	319	260	316	320	2321

団地内における会話の状況



○調査結果16（住まいの見通し）

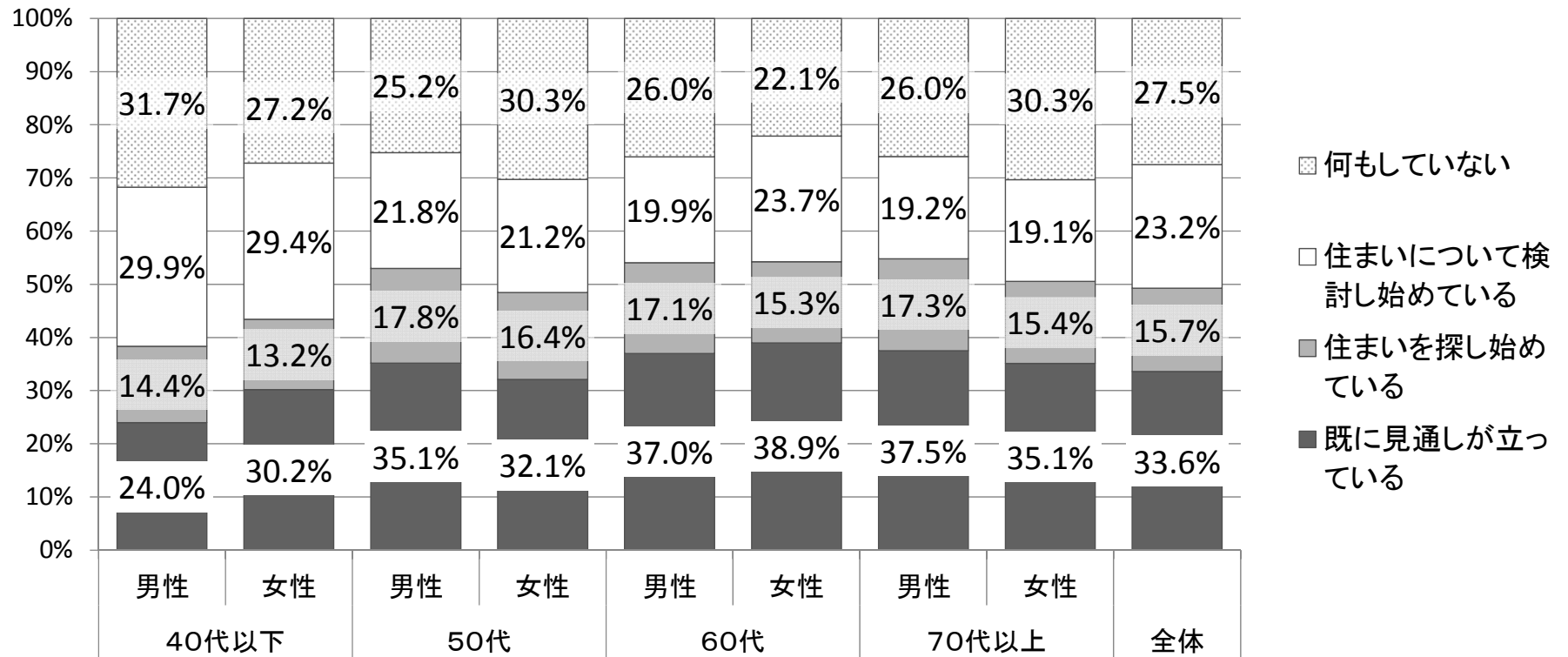
・今後の住まいの見通しについて、質問した。

・全体の33.6%が「既に見通しが立っている」と回答した。

・年代別においては、40代以下で見通しが立っている割合が低い傾向となっている。

住まいの見通し	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
既に見通しが立っている	24.0%	30.2%	35.1%	32.1%	37.0%	38.9%	37.5%	35.1%	33.6%
住まいを探し始めている	14.4%	13.2%	17.8%	16.4%	17.1%	15.3%	17.3%	15.4%	15.7%
住まいについて検討し始めている	29.9%	29.4%	21.8%	21.2%	19.9%	23.7%	19.2%	19.1%	23.2%
何もしていない	31.7%	27.2%	25.2%	30.3%	26.0%	22.1%	26.0%	30.3%	27.5%
回答者数	167	235	202	165	246	190	208	188	1778

住まいの見通し



○調査結果17（住まいの見通し ※具体的な見通し）

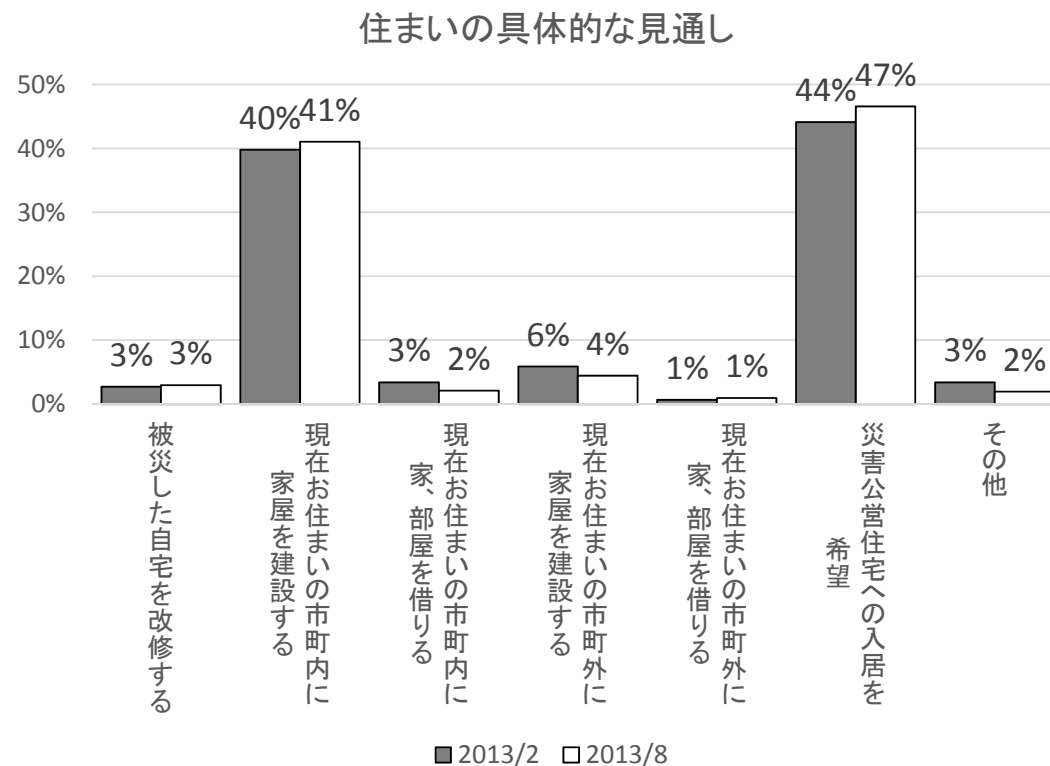
・住まいの見通しについて「既に見通しが立っている」「住まいを探し始めている」の回答者へ、具体的な住まいの見通しについて質問した。

・見通しが立っている方の41%が現在の市町村内に自宅を新築する予定であり、また全体の46.6%が災害公営住宅への入居を希望している。

見通しが立っている方の5.3%が市町外への転居を希望している。

・70代以上の女性では、58.2%が災害公営住宅への入居を希望している。

・前回調査との比較においては、ほぼ同様の傾向が確認された。



住まいの見通し	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
被災した自宅を改修する	2.6%	3.6%	3.4%	6.5%	2.4%	1.7%	2.4%	2.2%	3.0%
現在お住まいの市町内に家屋を建設する	52.6%	33.0%	54.7%	40.9%	47.1%	34.9%	50.5%	29.8%	41.0%
現在お住まいの市町内に家、部屋を借りる	2.6%	4.5%	0.0%	3.2%	1.5%	2.9%	1.9%	2.7%	2.1%
現在お住まいの市町外に家屋を建設する	3.9%	7.1%	4.3%	6.5%	2.9%	7.6%	1.9%	3.6%	4.4%
現在お住まいの市町外に家、部屋を借りる	2.6%	0.0%	0.9%	0.0%	0.5%	0.6%	0.5%	1.8%	0.9%
災害公営住宅への入居を希望	27.6%	49.1%	35.0%	41.9%	44.7%	51.2%	41.3%	58.2%	46.6%
その他	7.9%	2.7%	1.7%	1.1%	1.0%	1.2%	1.4%	1.8%	2.0%
回答者数	76	112	117	93	206	172	208	225	1377

○調査結果18（住まいの見通し※見通しの立たない理由）

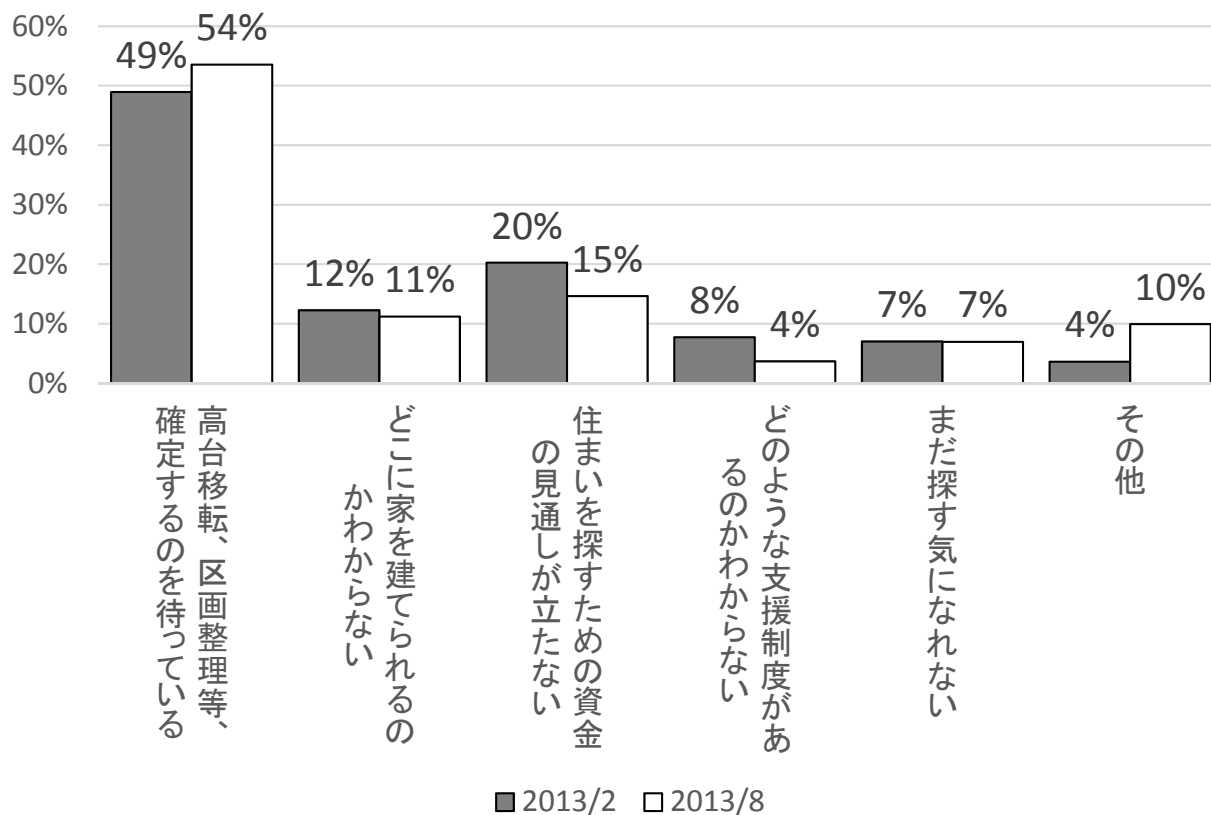
・住まいの見通しについて「検討し始めている」「何もしていない」の回答者へ見通しが立たない理由を質問した。

・見通しが立たない理由では、53.5%が「高台移転、区画整理等、確定するのを待っている」と回答しており、最も高かった。

・年代別に見ると、40代以下、50代の女性で「資金の見通し」が立たないと選択している割合が他年代と比較し、高くなっている。

・前回調査と比較すると、「高台移転、区画整理等、確定するのを待っている」の割合が増加し、「住まいを探すための資金の見通しが立たない」が減少している。

見通しの立たない理由



住まいの見通しが立たない理由	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
高台移転、区画整理等、確定するのを待っている	43.6%	51.2%	50.0%	53.7%	59.0%	60.9%	59.6%	55.4%	53.5%
どこに家を建てられるのかわからない	10.6%	8.3%	10.5%	13.4%	8.6%	11.5%	14.4%	10.9%	11.2%
住まいを探すための資金の見通しが立たない	16.0%	19.8%	17.4%	18.3%	11.4%	13.8%	10.6%	8.7%	14.6%
どのような支援制度があるのかわからない	5.3%	0.8%	2.3%	1.2%	3.8%	2.3%	3.8%	5.4%	3.7%
まだ探す気になれない	11.7%	7.4%	10.5%	2.4%	7.6%	1.1%	3.8%	10.9%	7.0%
その他	12.8%	12.4%	9.3%	11.0%	9.5%	10.3%	7.7%	8.7%	10.0%
回答者数	94	121	86	82	105	87	104	92	874

○調査結果19（住宅再建で最も優先する事項）

○新しい住居を選択するときに優先すべき「生活環境」について質問した。

●最も優先すべき事項

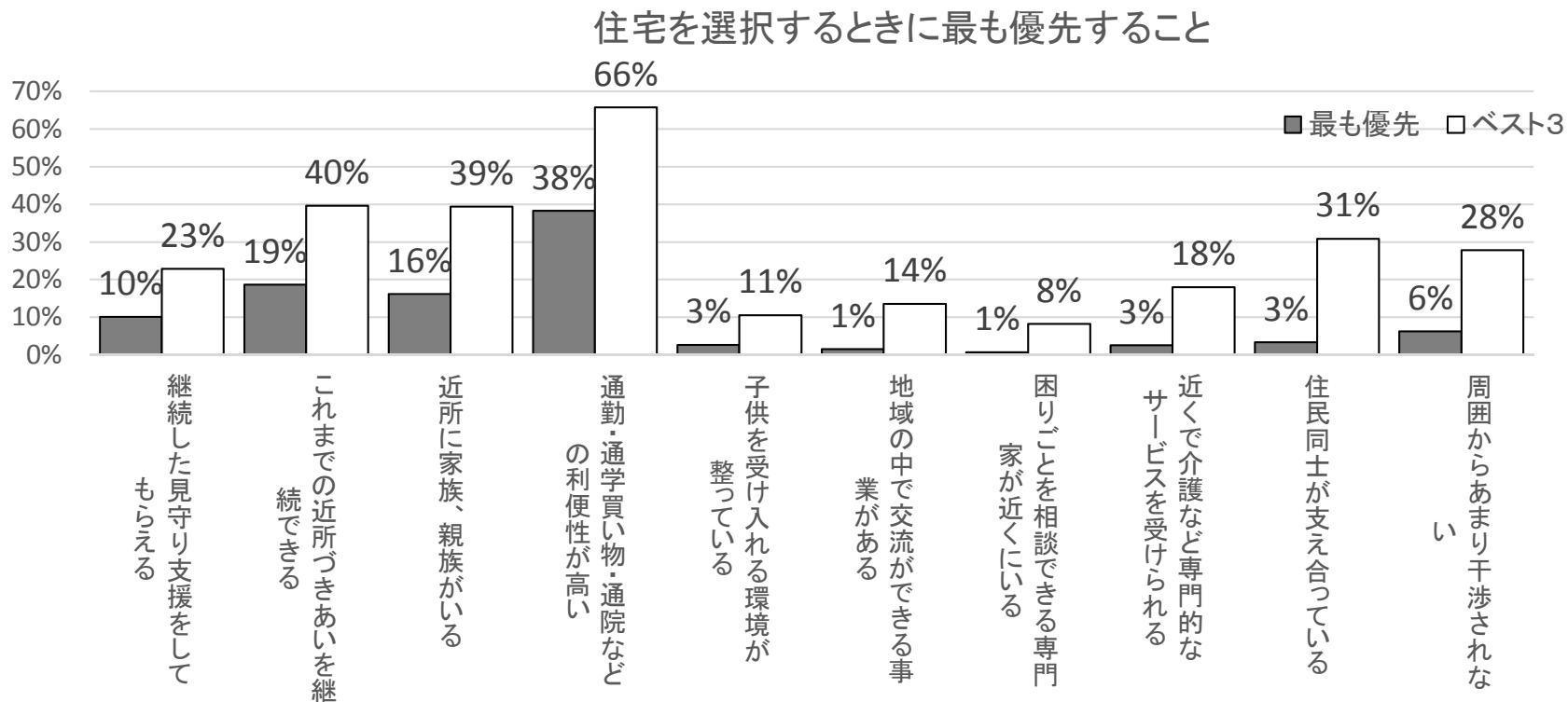
・全体では、「買い物・通院などの利便性が高い」が38.2%であり、すべての世代で最も優先度が高かった。この傾向は年代が若いほど、また女性の方がより選択する傾向にある。

・また、70代以上の女性では、「近所に家族・親族がいる」、「継続した見守り支援をしてくれる」を選択する割合が高く、70代男性では、これまでの近所づきあいを継続できると回答した割合が高くなっている。

●優先すべき事項

・第1優先から第3優先まで合算すると、最も優先すべき事項と同様の傾向となったが、70代以上では、「介護等の専門的サービス」を選択する割合が増加し、また40代以下の4割以上が「周囲からあまり干渉されない」と回答した割合が高くなっている。

・優先順位の第2、第3で選択した割合としては、「利便性」「近所づきあいの継続」「近所に家族・親族がいる」「住民同士が支え合っている」という順番になっている。



○調査結果19（住宅再建で最も優先する事項）

住宅を選択するときに最も優先する事項	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
継続した見守り支援をしてもらえる	5.6%	3.3%	9.0%	6.4%	10.6%	7.9%	14.4%	15.5%	10.1%
これまでの近所づきあいを継続できる	8.7%	10.8%	18.9%	16.9%	22.2%	17.6%	28.4%	19.5%	18.7%
近所に家族、親族がいる	13.7%	9.1%	14.4%	12.8%	16.9%	16.3%	18.5%	22.7%	16.2%
通勤・通学買い物・通院などの利便性が高い	49.7%	49.8%	39.8%	45.9%	31.3%	45.2%	27.7%	31.4%	38.2%
子供を受け入れる環境が整っている	8.7%	9.1%	2.5%	0.6%	1.8%	0.8%	0.7%	0.0%	2.6%
地域の中で交流ができる事業がある	2.5%	0.0%	2.0%	2.3%	1.8%	0.4%	1.1%	1.1%	1.5%
困りごとを相談できる専門家が近くにいる	0.6%	0.4%	1.0%	1.2%	0.0%	1.7%	0.7%	0.4%	0.6%
近くで介護など専門的なサービスを受けられる	0.0%	0.4%	2.0%	3.5%	2.1%	4.2%	3.7%	4.3%	2.5%
住民同士が支え合っている	1.9%	4.1%	2.0%	3.5%	6.7%	2.5%	1.5%	3.6%	3.3%
周囲からあまり干渉されない	8.7%	12.9%	8.5%	7.0%	6.7%	3.3%	3.3%	1.4%	6.2%
回答者数	161	241	201	172	284	239	271	277	2085

住宅を選択するときに優先する事項(上位3件)	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
継続した見守り支援をしてもらえる	13.7%	19.5%	18.4%	29.7%	22.5%	23.4%	24.7%	29.2%	22.9%
これまでの近所づきあいを継続できる	29.8%	23.2%	37.3%	34.3%	44.0%	35.6%	53.1%	46.2%	39.6%
近所に家族、親族がいる	42.2%	31.5%	38.3%	34.3%	41.2%	35.6%	44.6%	40.1%	39.4%
通勤・通学買い物・通院などの利便性が高い	72.7%	82.2%	69.7%	75.6%	57.0%	72.4%	50.2%	61.4%	65.8%
子供を受け入れる環境が整っている	31.1%	29.5%	9.5%	8.7%	6.0%	2.9%	4.4%	2.2%	10.6%
地域の中で交流ができる事業がある	14.3%	9.1%	14.4%	12.8%	18.0%	16.3%	12.2%	11.6%	13.5%
困りごとを相談できる専門家が近くにいる	5.0%	6.2%	8.0%	8.7%	5.6%	11.3%	7.4%	9.4%	8.2%
近くで介護など専門的なサービスを受けられる	6.8%	9.1%	15.4%	12.2%	19.7%	23.4%	23.6%	29.6%	18.0%
住民同士が支え合っている	23.6%	22.4%	32.8%	32.0%	35.2%	29.3%	34.3%	32.9%	30.8%
周囲からあまり干渉されない	40.4%	44.0%	35.8%	30.8%	25.4%	29.7%	18.1%	13.0%	27.8%
回答者数	161	241	201	172	284	239	271	277	2085

○調査結果20（住宅を再建するとき不安であること）

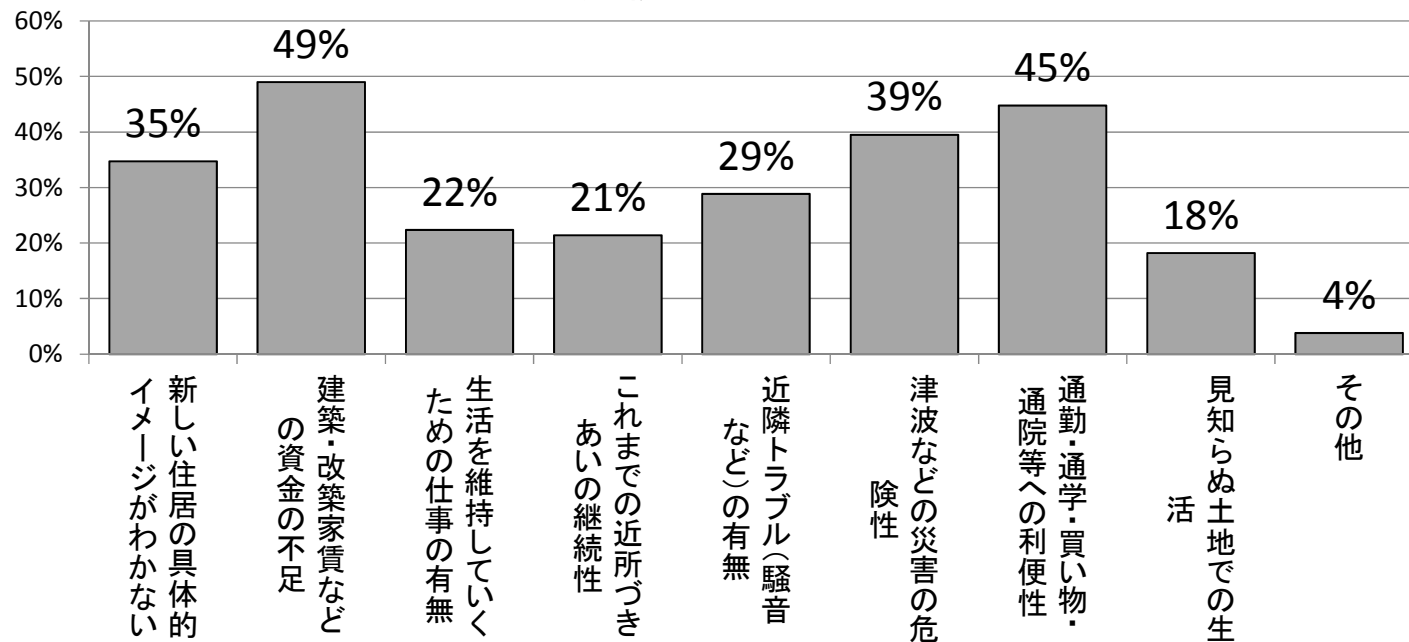
・新しい住居を選択する際に不安に思うことについて複数回答で質問した。

・全体では、「建築・改築・家賃などの資金の不足」が49%で最も高く、次いで「通勤・通学・買い物・通院等への利便性」、「津波などの災害の危険性」の順となっている。

・年代別に見ると、40代以下、50代で「建築・改築・家賃などの資金の不足」、「生活を維持していくための仕事の有無」等、生活資金に関する割合、また近隣トラブルへの不安の割合が高くなっている。また、女性は男性と比較し、「見知らぬ土地での生活」を不安に思う割合が高い。

・70代以上では「これまでの近所づきあいの継続性」についての不安が高くなっている。

住宅を選択する上で不安なこと



住宅を選択するするときの不安	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
新しい住居の具体的なイメージがわからない	34.1%	28.8%	30.4%	36.5%	31.5%	37.8%	33.9%	37.8%	34.7%
建築・改築家賃などの資金の不足	62.9%	57.6%	58.3%	62.4%	44.3%	42.1%	45.9%	36.5%	49.0%
生活を維持していくための仕事の有無	26.9%	33.7%	37.7%	31.5%	23.9%	22.0%	11.0%	6.4%	22.3%
これまでの近所づきあいの継続性	16.2%	8.6%	18.1%	19.9%	19.3%	16.5%	34.6%	30.1%	21.4%
近隣トラブル(騒音など)の有無	40.7%	42.4%	33.8%	40.3%	20.7%	33.1%	18.8%	22.3%	28.8%
津波などの災害の危険性	42.5%	50.2%	32.4%	42.0%	33.4%	49.6%	33.2%	39.2%	39.5%
通勤・通学・買い物・通院等への利便性	47.9%	49.4%	36.8%	47.5%	38.4%	49.2%	42.8%	47.6%	44.7%
見知らぬ土地での生活	15.6%	27.2%	20.1%	17.7%	17.0%	21.7%	14.0%	19.6%	18.2%
その他	5.4%	2.9%	4.4%	3.3%	3.9%	5.5%	4.1%	2.7%	3.8%
回答者数	167	243	204	181	305	254	292	296	2198

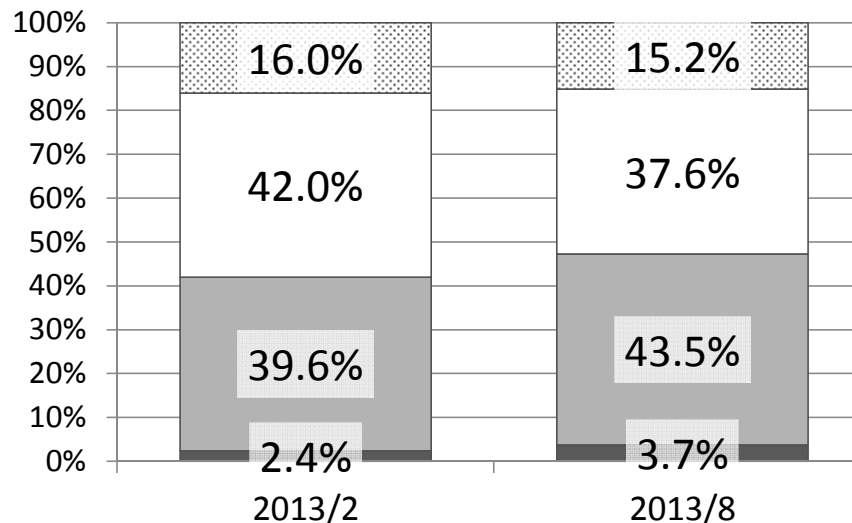
○調査結果21（情報収集満足度）

・復興に向けた情報収集の満足度について質問した。

・復興・生活再建に必要な情報に関しては、全体では「今後の生活に十分な情報を得られている」が3.7%、「自分に最低限必要な情報は得られている」が43.5%である一方、全体の52.8%は欲しい情報を得ることができていないと回答している。

・年代別に整理すると、特に女性で「自分に最低限必要な情報を得られている」と回答した割合が前回と比較しても増加傾向であることが認められる。

情報満足度



- 欲しい情報をほとんど得られていない
- 欲しい情報をあまり得ることができていない
- 自分に最低限必要な情報は得られている
- 今後の生活に十分な情報を得られている

情報満足度	40代以下				50代				60代				70代以上				全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		2013/2	2013/8
	2013/2	2013/8	2013/2	2013/8	2013/2	2013/8	2013/2	2013/8	2013/2	2013/8	2013/2	2013/8	2013/2	2013/8				
今後の生活に十分な情報を得られている	3%	6%	1%	3%	2%	6%	3%	2%	2%	3%	2%	3%	3%	5%	3%	2%	2%	4%
自分に最低限必要な情報は得られている	45%	37%	39%	49%	39%	45%	40%	46%	38%	50%	44%	44%	40%	40%	36%	43%	40%	44%
欲しい情報をあまり得ることができていない	35%	43%	42%	35%	46%	35%	37%	37%	43%	34%	39%	38%	42%	38%	44%	38%	42%	38%
欲しい情報をほとんど得られていない	17%	14%	17%	13%	12%	14%	20%	14%	17%	13%	15%	15%	15%	17%	17%	17%	16%	15%
回答者数	75	171	99	238	84	212	60	183	118	296	93	254	112	298	107	290	836	2191

○調査結果22(より拡充して欲しい情報)

・今後、拡充して欲しい情報について複数回答で、質問を行った。

・拡充して欲しい情報では、「住宅再建(新築・増築への支援など)について」が最も高く、次いで「災害公営住宅について」、「土地利用(土地利用・高台移転について)」となっており、前回調査と同様の傾向を示している。

・年代別の特徴においては、70代以上では介護・福祉に関する情報、また、40代以下では、教育に関する支援制度に関する情報、50代および40代女性では、雇用・就職支援に関する情報ニーズが他年代と比較して高くなっている。

拡充して欲しい情報	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
土地利用(土地利用・高台移転について)	42.5%	35.1%	36.6%	39.3%	38.0%	37.5%	37.0%	26.6%	36.1%
住宅再建(新築・増築への支援など)について	59.8%	55.4%	60.6%	61.7%	52.3%	48.8%	48.7%	40.4%	51.6%
災害公営住宅について	40.2%	46.7%	42.3%	37.2%	36.7%	46.5%	37.7%	49.5%	42.1%
2重ローンの減免制度について	12.1%	8.3%	7.0%	9.3%	6.2%	2.0%	2.6%	2.7%	5.4%
生活資金の支援制度について	32.8%	35.1%	37.1%	39.3%	31.2%	36.3%	32.8%	31.3%	34.4%
産業支援について	8.6%	4.5%	10.3%	8.2%	4.9%	5.9%	3.6%	1.0%	5.4%
雇用・就職支援について	14.9%	22.3%	23.5%	20.8%	11.0%	8.6%	2.6%	1.0%	11.5%
地域の復興計画について	42.5%	33.5%	39.4%	37.7%	38.6%	39.8%	40.6%	30.6%	37.7%
教育に関する支援制度について	20.1%	28.5%	6.1%	7.1%	1.3%	1.6%	1.3%	3.0%	7.5%
介護・福祉について	13.2%	9.1%	14.1%	15.3%	16.9%	23.0%	34.7%	38.4%	21.9%
市内の各種イベント情報	7.5%	8.7%	7.0%	8.7%	5.5%	7.4%	4.9%	8.4%	7.2%
仮設住宅団地内の各種情報	7.5%	14.0%	16.0%	7.1%	13.6%	12.5%	24.4%	18.2%	15.0%
その他	1.1%	1.2%	1.9%	0.0%	1.6%	1.2%	1.6%	1.3%	1.2%
回答者数	174	242	213	183	308	256	308	297	2244

